

東京放射線

総会特集号

2015年5月号

Vol.62 No.728

5月号綴じ込み

“書面表決” 投函のお願い



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

<http://www.tart.jp/>

巻頭言

ピンクリボンウォーク活動と診療放射線技師

葛西一隆

会告

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会開催について（招集通知）
第55回きめこまかな生涯教育
平成27年度診療放射線技師のための「フレッシュャーズセミナー」
第13回ペイシエントケア学術大会

公開講座のお知らせ

平成26年度学術奨励賞

平成26年度新人奨励賞

お知らせ

クリーンデー（中央区内二斉清掃日）

総会資料

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会資料

研修会等申込書

スローガン

一、チーム医療の推進
二、地球環境と調和した医療技術の向上
三、生涯教育・専門教育の推進

2015年 MAY CONTENTS

目次

巻頭言	ピンクリボンウォーク活動と診療放射線技師	副会長 葛西一隆	2
会告1	公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会開催について（招集通知）		3
会告2	第55回きめこまかな生涯教育	学術教育委員会	4
会告3	第46回日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育が行く/入会促進＞	学術教育委員会	5
会告4	平成27年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」 （第45・47回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催）	学術教育委員会	6
会告5	第13回バイシエントケア学術大会	学術教育委員会	8
	公開講座のお知らせ		
会告6	平成27年度城東支部研修会	城東支部委員会	10
会告7	平成26年度学術奨励賞		11
会告8	平成26年度新人奨励賞		12
お知らせ1	学術教育委員会からのお知らせ	学術教育委員会	13
お知らせ2	クリーンデー（中央区内一斉清掃日）	第2地区	14
お知らせ3	東放技会員所属地区のご案内	情報委員会	15
	公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会資料		
	・第1号議案 平成26年度事業報告（案）		16
	Ⅰ 総括		
	Ⅱ 事業報告		
	Ⅲ 活動報告		
	Ⅳ 活動報告（庶務概要）		
	・第2号議案 平成26年度決算報告（案）		39
	平成26年度監査報告		48
	・第3号議案 平成27年度事業計画（案）		49
	Ⅰ 総括		
	Ⅱ 定款に基づく本会の事業		
	Ⅲ 委員会事業計画		
	・第4号議案 平成27年度予算（案）		59
	バイブライン		
	・超音波画像研究会 第240回定例会、第12回ワンバイツ講習会		61
	・平成27年度 東京都がん検診センター マンモクラフィ研修会（読影補助編）		62
	平成26年度第12回理事会報告		64
	平成27年2月期会員動向		68
	研修会等申込書		70

Column & Information

・公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会 準備委員・職員名簿	14
・学術講演会・研修会等の開催予定	69
・求人情報	71

休載のお知らせ

5月号は総会資料掲載の特集号のため「連載誌上講座」、「こえ（印象記）」、「イエローケーキ」、「NEWS ひろい読み」は休載いたします。

編集委員会

巻 頭 言



ピンクリボンウォーク活動と診療放射線技師

副会長 葛西一隆

4月4日、「ピンクリボンウォーク2015」の展示ブースに参加しました。7回目の出展でしたがいつも天候に恵まれず、今回も終日雨天の寒い日となりました。内容に関しては、乳がんのしこり体験、マンモグラフィ検査のビデオ放映、乳がん検診の紹介、放射線被ばくの相談、写真やパネルの展示、各種画像検査の啓発・説明や不安解消、放射線に関わる資料の無料配布など多岐にわたり、われわれ診療放射線技師の職業説明も併せて行いました。

ブースへ訪れていただいた人たちには、しこり体験の説明など丁寧な対応をしましたが、中には「宗教の団体?」、「写真屋さんの集まり?」とか、「レントゲン屋さん?」など、さまざまなことも聞かれました。

そもそもピンクリボン運動とは、アメリカにおいて乳がんで亡くなられた患者さんの家族が「このような悲劇が繰り返されないように…」との願いを込めて創った“リボン”から始まった乳がんの認知活動であり、このリボンは乳がんに対する理解と支援を促す運動のシンボルマークとなっています。アメリカの乳がん発生率は7人に1人、日本では年間約5万人が罹患し女性の悪性腫瘍の第1位です。約14分間に1人が乳がんになり、約50分間に1人が亡くなっており、女性の死亡病因では14人に1人が乳がんです。先進国の中で日本はこの死亡率が年々増えています。かつて死亡率の高かったアメリカやイギリスでは、国を挙げて乳がんに対する啓発とマンモグラフィ検診を普及させ、早期発見に力を入れてきました。実際にアメリカではマンモグラフィを取り入れた集団検診が行われるようになった結果、50歳以上の女性の乳がん死亡率がなんと20～25%も減少したという報告もあります。

他の啓発活動として、レッドリボンはエイズ・HIV、イエローリボンは自殺防止や膀胱がん、ダークブルーリボンは乳幼児虐待防止、ライトブルーリボンは小児がんや前立腺がん、ジグソーリボンは自閉症などがあり、リボンの色とその意味が約25種類もあります。われわれ診療放射線技師は、技師会としても啓発活動をどんどん行っていかなければ…と思います。また、来る5月16日には「看護フェスタ2015」が開催されます。そちらでもブースを設けて啓発活動を行います。さあ皆さんも参加しましょう。

一方、4月1日より施行された診療放射線技師の業務拡大として、下記3点があります。

- 1) 造影剤の血管内投与に関する業務
- 2) 下部消化管検査に関する業務
- 3) 画像誘導放射線治療 (IGRT) に関する業務

これらに対する教育と研修講習が義務として新たに課せられます。しかし、文頭で述べたように、まだまだ、診療放射線技師の仕事の内容を理解していない人達がたくさんいるのも現実です。日々誇りを持って切磋琢磨し、世のため人のため邁進しましょう。

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会開催について（招集通知）

標記につきまして、本会定款第14条の規定に基づき、定期総会を下記の日程で開催しますので、正会員の方々のご参集をお願い致します。また、やむを得ない理由のため総会にご出席できない方は、定款第18条に基づき、期日までに書面評決表の投函をお願い致します。

記

開 催 日：平成27年6月27日（土）
 受 付：15時00分～
 総 会：15時30分～
 会 場：日暮里サニーホール
 荒川区東日暮里5-50-5 ホテルラングウッド4階
 Tel 03-3807-3211
 交 通：JR日暮里駅南口より徒歩1分
 議 事：第1号議案 平成26年度事業報告（案）
 第2号議案 平成26年度決算報告（案）
 平成26年度監査報告
 第3号議案 平成27年度事業計画（案）
 第4号議案 平成27年度予算（案）

以上

平成27年5月7日
 公益社団法人東京都診療放射線技師会
 会長 篠原 健一



お願い

1. ご出席の際は、必ず総会資料である会誌「東京放射線」5月号をご持参ください。また、「第66回定期総会議事の表決について」および「委任状」を同封いたしました。総会に出席できない方は、必要事項をご記入の上、必ず投函をお願いします。
2. 定期総会議事について書面表決された方は、「委任状」へのご記入は不要です。
3. 本会告をもって招集通知と致します。多数の会員のご出席をお願いします。



第55回きめこまかな生涯教育 テーマ「CT（肺がんを見逃すな!）」

今回はCT撮影時の肺がんについて集中的に勉強をしたいと思います。

CT検査における肺がん検出に対する感度は高く、有用とされています。

今回は肺がんを中心に胸部呼吸器系CT検査上、理解すべき、基礎知識力、基礎技術力、読影力を習得したいと思います。

多くの方の参加をお待ちしております。

～プログラム～

15:00－15:30 「呼吸器系解剖とCT画像解剖・肺がん病理」

日本大学医学部附属板橋病院 比内 聖紀 氏

15:30－16:15 「CT撮影技術・被ばく・画像処理」

順天堂大学医学部附属順天堂医院 稲毛 秀一 氏

16:20－17:20 「肺がんを見逃すな（疾病とCT画像情報）」

北里大学北里研究所病院 小林 隆幸 氏

記

日 時：平成27年5月23日（土）15時00分～17時20分（14時30分受付）

場 所：公益社団法人 東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員2,000円、非会員10,000円（当日徴収）

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育2.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujiu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第46回

日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育が行く/入会促進＞ 「ミエログラフィ」 ～造影検査からCT撮影まで～

第46回日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育が行く/入会促進＞の第2弾はミエログラフィを取り上げます。

ミエログラフィは整形領域で昔から行われている検査の一つです。検査内容は習得しているものの疾患に対する知識はやや不足している感があるかと思います。今回は検査の基本から症例など含め、幅広く解説を予定します。

多くの参加をお待ちしております。

19:00-19:10 技師会紹介

19:10-19:30 ミエログラフィの基礎（解剖、検査方法（透視））

公立福生病院 佐藤 靖高

19:30-20:15 ミエログラフィのCT（CT 検査および臨床）

東京都済生会中央病院 河内 康志

記

日 時：平成27年6月12日（金）19時00分～20時30分

場 所：東京都済生会中央病院 新棟7階 第1会議室 〒108-0073 東京都港区三田1-4-17

ア ク セ ス：赤羽橋駅赤羽橋口出口から徒歩約2分

芝公園駅A2出口から徒歩約6分

麻布十番駅3出口から徒歩約9分

受 講 料：診療放射線技師500円（当日徴収）、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724



平成27年度診療放射線技師のための 「フレッシューズセミナー」開催のお知らせ

第45・47回日暮里塾ワンコインセミナー「新入会促進セミナー」合同開催

主催 公益社団法人日本診療放射線技師会、公益社団法人東京都診療放射線技師会

このたび平成27年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」を開催いたします。
これは公益社団法人日本診療放射線技師会と公益社団法人東京都診療放射線技師会の共同企画であり、新人診療放射線技師を対象としたセミナーです。このセミナーの特徴は、医療者として必要な医療安全学、医療感染学、エチケット・マナーを学ぶだけでなく、診療に対応できるよう知っておくべき基礎知識の習得を目的として開催します。また同時開催として日暮里塾ワンコインセミナーを開催いたします。新入会促進セミナーとして好評をいただいているセミナーでフレッシューズセミナーと共通した部分が多く、合同開催することでより内容が充実したセミナーになると考えております。

今回は同じ内容で2回開催いたします。ご都合の良い方を選びご参加ください。

記

日 時：1回目 平成27年5月31日(日) 8時50分～17時10分(受付開始8時30分～)
2回目 平成27年6月14日(日) 8時50分～17時10分(受付開始8時30分～)

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受講対象者：あらたに診療放射線技師として勤務する者を優先とする。

受 講 料：無料

申込方法：東放技ホームページ(<http://www.tart.jp/>)の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア) 講習時間に対し、欠課の合計時間が1割を超えた場合

イ) 欠課が15分を越えたコマが1つでもあった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修」カウントが付与されます。

締め切り：1回目 平成27年5月24日(日)

2回目 平成27年6月7日(日)

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail: gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX: 03-3806-7724

プログラム

限	時 間	科 目	講 師 名 (所 属)
	8:50-9:00	開講式・オリエンテーション	
1	9:00-10:00	エチケット・マナー講座 社会人講座	大室 正巳（東京通信病院）
2	10:10～12:10	感染対策講座（講義・実習）	市川 重司（東放技理事・公立福生病院）
昼 食			
3	12:55～13:25	技師会活動紹介	野口 幸作（東放技理事・東京臨海病院） 市川 重司（東放技理事・公立福生病院）
4	13:25～14:25	医療安全対策講座	江田 哲男（東放技理事・東京都済生会中央病院）
5	14:35～15:35	胸部単純撮影講座	野口 幸作（日放技教育委員）
6	15:35～16:20	画像診断用解剖学講座 (X-P、CT、MR 画像を中心に)	市川 重司（東放技理事・公立福生病院）
7	16:20～16:50	入会案内	野口 幸作（東放技理事・東京臨海病院）
	16:50～17:10	閉講式	



第13回ペイシエントケア学術大会 テーマ「がん患者をサポートする医療者」

開催日：平成27年6月27日(土)

開催場所：日暮里サニーホール（ホテルラングウッド4階）

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5

参加費：診療放射線技師1,000円 他職種および一般参加者 無料

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

後援：東京都・荒川区・公益社団法人東京都看護協会・東京消化器内視鏡技師会
公益社団法人東京都臨床検査技師会・公益社団法人東京都歯科衛生士会

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修4.5カウント付与

以上

～プログラム～

- 9:55～ 主催者挨拶** 第13回ペイシエントケア学術大会大会長 篠原 健一
(公益社団法人東京都診療放射線技師会会長)
- 10:00～10:55 パネルディスカッションⅠ「がん検査をサポートする医療者」**
 1. 消化器内視鏡技師として求められる役割 さくらい消化器科内科 堀内 春美
 2. 臨床検査技師（尿素呼気検試験）として求められる役割 日本大学医学部附属板橋病院 荒木 秀夫
 3. 診療放射線技師として求められる役割 (公財)東京都保健医療公社東京都がん検診センター 高嶋 優子
 座長 公益社団法人 東京都診療放射線技師会 学術教育委員 比内 聖紀、鳥井志真子
- 11:00～11:55 パネルディスカッションⅡ「がん患者をサポートする医療者」**
 1. がん看護専門看護師として果たすべき役割 順天堂大学医学部附属順天堂医院 中野真理子
 2. 管理栄養師（術後の食事管理）として果たすべき役割 東京労災病院 奥田 恵子
 3. 歯科衛生士（口腔管理）として果たすべき役割 東邦大学医療センター大森病院 久保田玲子
 座長 公益社団法人 東京都診療放射線技師会 学術教育委員 野中 孝志、徳間 信子
- 12:00～12:45 ランチョンセミナー**
「良質な消化管検査を支える検査器具、薬剤」
 座長 公益社団法人 東京都診療放射線技師会第3地区委員長 平瀬繁男
- 13:25～14:10 教育講演**
「胃がん検診から治療まで～バリウム検査の必要性と診療放射線技師の役割」
 講師 埼玉県立がんセンター 腰塚 慎二 先生
 司会 第13回ペイシエントケア学術大会副大会長 白木 尚
- 14:15～15:00 特別講演（公開講座）**
「カプセル内視鏡の現状と将来展望」
 講師 富士フイルムメディカル株式会社 内視鏡超音波事業本部カプセル販促G 森本 淳 氏
 司会 第13回ペイシエントケア学術大会大会長 篠原健一

<会場外 カイゲンファーマ(株)、伏見製薬(株)、堀井薬品工業(株)による消化管検査関連製品展示>

公開講座

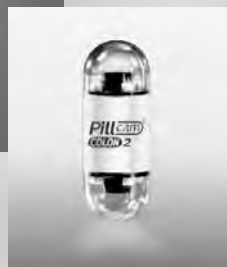


第13回ペイシェントケア学術大会 テーマ「がん患者をサポートする医療者」

特別講演

一般の方・他職種は**無料**

「カプセル内視鏡の現状と将来展望」



富士フイルムメディカル株式会社
内視鏡超音波事業本部カプセル販促G

森本 淳 氏

会 期 : 平成27年6月27日(土) 14時15分～

会 場 : 日暮里サニーホール (ホテルラングウッド4階)
〒116-0014 荒川区東日暮里5-50-5

参加費 : 診療放射線技師 1,000円 一般および他職種 無料

後 援 : 東京都・荒川区

(公社)東京都看護協会・東京消化器内視鏡技師会

(公社)東京都臨床検査技師会・(公社)東京都歯科衛生士会

主催 公益社団法人東京都診療放射線技師会



平成27年度城東支部研修会

テーマ「異業種における接遇の取り組みについて」

講師 浅草ビューホテル 総副支配人 鎌形 義雄 先生

昔は医療優位の環境でしたが、現在の医療は「医療もサービス業」であり患者や家族に対する接遇が必要であるという考え方は広く浸透してきています。また、医療経済が厳しくハード面での投資も困難な時代「接遇」＝「ホスピタリティ」は投資をかけず、すぐに取り組む事ができます。

画像診断部門にかかわる患者様あるいはご家族は、健康になんらかの不安や痛みを持って訪れます。そのような状況で、限られた時間の中での「接遇」には、皆さんも苦労されていると思います。

今回は、異業種の方を講師に「接遇」について講演していただきます。医療同様、ホテル業も「接客」から「接遇」へと対応し、環境など全てがあたりまえですが、異業種の考え方・取り組み方を学ぶことにより、職場での「接遇」のヒントになれば幸いです。

入職してルーチン業務に一段落した新人から教育・指導する立場の方も、また他部門の方もぜひ参加ください。

記

日 時：平成27年7月16日（木）19時00分～20時30分（18：30 受付開始）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：診療放射線技師1,000円（当日徴収）、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。（申込フォームをご利用の際の主催は、“城東支部”を選択してください）

問い合わせ：城東支部委員会 E-Mail：shibu_jyoutou @tart.jp

第1地区委員長 齊藤 謙一

第2地区委員長 藤田 賢一

第7地区委員長 富丸 佳一

第14地区委員長 内山 秀彦

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

平成26年度学術奨励賞

演 題 名 Digital Subtraction Angiography (DSA) 非搭載心臓カテーテル専用装置を使用した下肢動脈炭酸ガス造影法の検討

発 表 者 渡邊 真弓

共同発表者 岩崎徳夫、小林 豊、草間正造、渋谷香那、野口 健、萩原昭世、篠原健一

施 設 名 河北総合病院 画像診断部

発 表 学 会 第30回日本診療放射線技師学術大会

【受賞理由】

高性能な装置で高度で多岐にわたる放射線検査が施行されている一方、種々の事情により限られた装置、機能で検査を施行している施設も少なくないと思われる。今回のようにDSA機能を搭載していない装置を使用した検査法の検討は創意工夫が見られ、非常に興味をひく有意義な研究である。また検討を進めるうえでも装置、検査法、画像に至るまで熟知した上で検討する必要性を求められ高い知識と十分な経験が必要となる。

また他施設でも同じような環境の施設にとっては、一考の余地があるのではないかと思う。今後、さらなる研究を進めていただきたい。

平成26年度新人奨励賞

演 題 名 全脊柱撮影における女性の生殖腺防護の検討

発 表 者 林 暎里¹

共同発表者 渋谷綾子¹、藤澤宏信¹、加藤京一^{1、2}、中澤靖夫^{2、3}

施 設 名 昭和大学藤が丘病院放射線室¹、昭和大学大学院保健医療学研究科²、昭和大学統括放射線技術部³

発 表 学 会 第30回日本診療放射線技師学会大会

【受賞理由】

小児撮影に多い全脊椎撮影において生殖腺防護は大きな意味を持つ一方、立位撮影という環境から技術的に困難を来す作業であり、また時間も要し検査への影響も懸念される。

本研究は統計的にデータを取得し、専用の防護衣を作成したことで、生殖腺防護の精度が向上し、患者負担、検査時間も軽減できるなど有意義な研究と考えられる。今後も適応範囲を広げ、さらなる検討を期待する。

平成26年度新人奨励賞

演 題 名 当院の接遇への取り組みについて

発 表 者 松永麻美

共同発表者 小野博史、藤田賢一、土田静男

施 設 名 公益財団法人ライフ・エクステンション付属永寿総合病院放射線科

発 表 学 会 第30回日本診療放射線技師学会大会

【選出理由】

昨今、検査数の増加や多様化により検査、撮影を処理することに終始し、患者状態の観察が疎かになり時として嫌悪感を持たれ質が低下する場合も少なくない。われわれが気づかない環境下で患者からの意見は重要な資料（意見）となる。

本研究は長期にわたり蓄積したデータをもとに患者意見を分析することで、従事するわれわれに有意義な情報を提供したことは大きな意味を持つと考えられる。

患者に寄り添った検査、撮影構築は重要で接遇という点も高く評価される。今後も継続的な検討を期待する。

学術教育委員会からのお知らせ

日暮里塾ワンコインセミナーの開催は、研修センターのある日暮里を中心に開催をしておりましたが、平成27年度は都内各所（6回予定）に出向き開催を予定いたします。

名称は「日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育が行く/入会促進＞」とし、一人でも多くの方に技師会を見ていただき、入会ならびに自己研鑽の場として活用していただきたいと考えております。加えて東京都診療放射線技師会が都民の医療を担う団体として、皆さまの協力のもと成長したいと考えております。

・・・日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育が行く/入会促進＞・・・

Part1 第44回日暮里塾ワンコインセミナー（終了しました）

日時：平成27年3月11日（水）

場所：三鷹産業プラザ

内容：着眼点＜咳＞

講師：山下晃司（杏林大学医学部附属病院）

Part2 第46回日暮里塾ワンコインセミナー

日時 H27年6月12日（金）

場所：東京都済生会中央病院

内容 ミエログラフィ（透視検査からCT撮影まで）

講師 佐藤靖高（公立福生病院）

講師 河内康志（東京都済生会中央病院）

Part3 日時 H27年7月

場所：順天堂大学医学部附属順天堂医院

内容 着眼点＜頭痛＞

講師 鈴木雄一（東京大学医学部附属病院）

Part4 日時 H27年9月

場所：帝京大学医学部附属病院

内容 救急撮影関連（仮称）

講師 森 剛（帝京大学医学部附属病院）

Part5 日時 H27年11月

場所：東芝病院

内容：未定

講師：未定

Part6 日時 H28年1月

場所：江戸川方面

内容：未定

講師：未定

◆詳細は会告にてお知らせいたします。

◆問い合わせ 学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

お知らせ 2

「クリーンデー（中央区内一斉清掃日）」のご案内

第2地区

公益社団法人東京都診療放射線技師会第2地区は、地域の環境美化とリサイクル運動を促進する目的とする「中央区クリーンデー」に本年度より参加いたします。

城東支部活動の「中央区健康福祉まつり」の会場となる、中央区保健所ならびにあかつき公園の清掃活動を実施します。奮って参加くださいますようご案内申し上げます。

記

日 時：平成27年5月24日（日）9時00分～ 2時間程度

活動エリア：中央区保健所および、あかつき公園周辺

集 合 場 所：中央区保健所入り口

※現地集合になります。技師会スタッフジャンパーを目印にご参加ください。

参 加 費：無料

お申し込み：参加希望の方は下記へお申し込みください。

（詳細な案内を連絡させていただきます。）

問い合わせ：第2地区委員長 藤田賢一 E-Mail：area02@tart.jp

以上

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会 準備委員・職員名簿

準備委員長：石田秀樹

副委員長：野口幸作 浅沼雅康 市川重司

経 理：関 真一 矢野孝好 横田 光 人見謙二

来 客 係：高野修彰 高坂知靖 江田哲男 安宅里美 渡辺靖志

受 付 係：齊藤謙一 藤田賢一 平瀬繁男 竹安直行 鈴木雄一 岡部博之 富丸佳一

鎌田 治 飯島利幸 今野重光 千葉利昭 鈴木 晋 崎浜秀幸 内山秀彦

原子 満 工藤年男

書記写真記録係：内藤哲也 岩井譜憲 森 美加 中谷 麗 平田充弘 柴山豊喜 高橋克行

会場設営係：浅沼芳明 松田紗代子

採 決 係：雨宮広明 岡部圭吾 河内康志 高瀬 正 長谷川雅一 吉井伸之

総会運営委員：安藤猛晴 中田健太 比内聖紀 藤村耕平 宮谷勝巳

資格審査委員：芦田哲也 池田麻依 伊佐理嘉 石川 徹 小野賢太 熊谷大樹 田川雅人

中西雄一 細川直志 渡部史也

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する神奈川方面・千葉方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページ<http://www.tart.jp/>に各地区の表と地図が掲載されていますので、ぜひ活用ください。



なお、毎月月替りで、各地区の特色や活動を紹介しています。地区表の上の地区名からリンクしていますので、こちらもぜひご覧ください。

情報委員会



第1地区	第5地区	第9地区	第13地区
第2地区	第6地区	第10地区	第14地区
第3地区	第7地区	第11地区	第15地区
第4地区	第8地区	第12地区	第16地区

関東支部	第1地区	千代田区	台東区	江東区
	第2地区	中央区	江戸川区	
	第7地区	墨田区	千葉方面地区	千葉地域
城南支部	第14地区	千葉方面地区	千葉地域	
	第4地区	港区	渋谷区	
	第8地区	品川区	大田区	
	第11地区	世田谷区	目黒区	
	第15地区	神奈川方面地区	神奈川地域	
城西支部	第3地区	新宿区		
	第9地区	板橋区	豊島区	
	第10地区	練馬区	中野区	杉並区
瀬川支部	第5地区	文京区	北区	
	第6地区	足立区	豊洲区	
	第16地区	埼玉方面地区	埼玉地域	
多摩支部	第12地区	西東京市	清瀬市	東久留米市
		小平市	東村山市	東大和市
		武蔵村山市		
	第13地区	上記、第12地区以外の多摩地域		



第1号議案 平成26年度事業報告（案）

I 総括

激甚な自然災害 “誤報” により著しく、わが国の国益を損なった新聞社、IS（イスラム国）問題、各種テロ、少年凶悪犯罪など重苦しさが記憶に残る反面、日本人にとって誇らしく明るい話題も数多くあった。ノーベル物理学賞を赤崎氏・天野氏・中村氏が受賞されたことを筆頭に、水素社会を予感させる日本の技術革新や宇宙技術の振興、各種スポーツにおける快挙などである。

昨年6月18日「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」により診療放射線技師法が改正され同25日公布、本年4月1日発効によりいわゆる診療放射線技師の業務範囲が拡大する。われわれが目指す抜本的改正とはいえないが、1951年（昭和26年）“診療エックス線技師法”の公布・施行後、1968年（昭和43年）に診療放射線技師の区分が新設されて以降では最大の改定であった。とりわけ診療放射線技師法第26条第2項が改正されたことは意義が大きい。

従来法では、「診療放射線技師は、病院又は診療所以外の場所においてその業務を行つてはならない。ただし、次に掲げる場合はこの限りでない」とし、その第2号に「多数の者の健康診断を一時に行う場合において、医師または歯科医師の立会いの下に100万電子ボルト未満のエネルギーを有するエックス線を照射するとき」とあり、一部地域で医師の立会いが不備であるとして住民検診が休止に追い込まれていた。これについて「胸部エックス線撮影」のみではあるが医師または歯科医師の立ち合いが不要となり、国民の健康を守る観点から6月25日の公布日に即日発効した。

なお、本会も第65回定期総会で定款改正を行い、正会員の要件であった“都内在勤または在住”という縛りをなくした。この要件は旧社団法人時代も公益社団法人移行時も監督官庁（都庁）の一貫した指導であったが、本会の長年にわたる“東京の地域性”に対する説明が理解された。転職する会員、都県をまたいで広域に関連病院・事業を持つ施設に勤務する会員、定年後などの会員資格安定のために重要な改正であった。

職能団体として診療放射線技師の将来像を構築すべく、日本診療放射線技師会、日本放射線技師連盟とともに「がん対策基本計画に基づく診療放射線技師の充実及び環境整備」「チーム医療を推進するための診療放射線技師の活用」「診療放射線技師法の改正」などについて各方面に政策を説明してきた。

平成24年4月の公益社団法人移行後初めてとなる東京都による「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律、第27条第1項及び第59条第2項の規定に基づく立入検査」が平成27年3月17日に実施され、「事業」「ガバナンス」「会計」について審査された。全体として「概ね良好に管理・運営されており、文書による改善命令はない」との評価であった。会員、関係団体、役員の方々のご支援・協力のおかげであり感謝申し上げます。より良い事業展開をするための指導を何点かいただいたので、真摯に受け止め今後の活動に反映させていく所存である。

われわれ診療放射線技師は国民の皆さまの信頼に応え、医療安全の確保、医療及び公衆衛生の向上に寄与すべくさまざまな方策を展開しなければならない。安心・安全そして納得できる医療技術の提供を求められている。常に最先端の医療技術を学び、Evidence（最善の根拠）と専門性と患者の価値観の統合に基づいた医療技術＝EBMを提供する必要がある。昨年度も、各種認定技師・専門技師の育成に関連団体と連携しながら推進し、本部または各支部・地区主催の各種講演会、セミナー、勉強会を開催した。また、「静脈注射（針刺しは除く）講習会」を中心に安全講習会を開催してきた。「静脈…講習会」については昨年度も5回開催し、過去の6回と合わせ約500名の方が受講した。これについては本年度からは日本診療放射線技師会による業務範囲拡大項目を網羅した「統一的講習会」が実施される予定である。

本会事業・活動の推進に対し、多大なご理解をいただいたことに感謝申し上げますとともに、新年度も今まで以上に都民・国民・会員のために本会の事業を推進する所存であり、皆さま方より一層のご支援とご協力をお願いする次第である。

Ⅱ 事業報告

1. 診療放射線技術の向上に関する調査・研究および指導に関する事業

1) 第12回ペイシェントケア学術大会

開催日時：平成26年6月22日（土）9時55分～16時15分

開催場所：日暮里サニーホール

大会テーマ：「救急医療を担う医療者」

講師：

◆公益社団法人東京都診療放射線技師会 活動報告

- | | | |
|--------------------|---------|------|
| 1. 情報委員会活動報告 | 情報委員会 | 安宅里美 |
| 2. 多摩支部（支部・地区）活動報告 | 多摩支部委員会 | 鈴木 晋 |

◆パネルディスカッション「救急医療現場の担い手として」

- | | | |
|--------------------------------|----------|------|
| 1. 診療放射線技師（救急撮影認定技師）として求められるもの | 聖路加国際病院 | 宇内大祐 |
| 2. 看護師（救急認定看護師）として求められるもの | 東京都立広尾病院 | 田中 浩 |
| 3. 救急救命士としての求められるもの | 海老名総合病院 | 池田明子 |

◆ランチョンセミナー

ITEM2014 東芝トピックス（X線、MRI、CT）

東芝メディカルシステムズ株式会社

保坂健一、淀 健治、猪川弘康

◆アンケート報告「ポータブル撮影について」

公益社団法人東京都診療放射線技師会 厚生調査委員会

斉藤誠治

◆教育講演

「たかがポータブル、されどポータブル：『見る』から『読む』へ」

聖マリアンナ医科大学 救急医学講師

松本純一

◆特別講演（公開講座）

「ドクターヘリパイロットって？」

中日本航空株式会社 航空事業本部ヘリコプター運航部長

石黒総司

参加人数：208名（診療放射線技師118名、一般・学生20名）

2) 第13回サマーセミナー

開催日時：平成26年9月6日（土）15時00分～18時00分

開催場所：東京医科大学 研究教育棟3階臨床講堂

大会テーマ：「最近のMRI装置事情」

講師：

第1部「最近のホットなMRI技術」

「心臓MR検査におけるソリューション（Cardiac Dot Engine, MyoMaps）」

シーメンス・ジャパン株式会社

宇根田宏

「心臓MRIの最新技術」

東芝メディカルシステムズ株式会社

松岡洋平

「肝臓疾患に対するGE社 MRIのアプローチ」

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

池田陽介

「日立MRI最新技術～プラークイメージング、BeamSAT TOF、RF送信技術を中心に～」

株式会社日立メディコ

山崎勝誠

第2部「条件付きMRI対応ペースメーカー」

杏林大学医学部付属病院

濱田健司

第3部「『静』を求めたMRI装置（静音技術を理解する）」

「GE社 MRI Silent Technologyの紹介」

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

池田陽介

「東芝の清音機構Pianissimo」

東芝メディカルシステムズ株式会社

松岡洋平

「Quiet Suite－すべての人にとって快適でやさしい検査を－」

シーメンス・ジャパン株式会社

小幡剛士

参加人数：60名（会員49名、非会員1名、一般・学生13名）

3) 第13回ウインターセミナー

開催日時：平成27年1月17日（土）15時00分～17時45分

開催場所：東京医科大学 研究教育棟4階第1講堂

大会テーマ：「被ばく低減施設取得と新しい線量指標（EI値）」

講師：

第1部「被ばく低減施設認定の道」

聖マリアンナ医科大学

佐藤寛之

第2部「被ばく低減施設取得施設から声」

東京慈恵会医科大学附属第三病院

大下 崇

第3部「耳より情報 放射線防護用手袋（RADIATION PROTECTION GLOVES）の紹介」

フレア株式会社

柴田 吉昭

第4部「追加被ばく線量 1 mSvは安全・安心の基準なのか？」

日本放射線公衆安全学会 会長

諸澄邦彦

第5部「EI値入門（新しい線量指標のすすめ）」

北里大学メディカルセンター

柳田 智

参加人数：66名（会員66名）

4) 第17回メディカルマネジメント

開催日時：平成26年11月24日（金）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「診療放射線技師の将来と人材教育」

講師：京都大学医学部附属病院 東村享治

参加人数：42名（会員39名、非会員2名）

5) 平成26年度診療放射線技師のための「フレッシュャーズセミナー」

（第33回日暮里塾ワンコインセミナー同時開催）

開催日時：平成26年5月25日（日）9時00分～17時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会、公益社団法人日本診療放射線技師会

講師：エチケット・マナー講座

東京通信病院

大室正巳

社会人講座

東京通信病院

大室正巳

感染対策講座（講義・実習）

公立福生病院

市川重司

技師会活動紹介

東京臨海病院

野口幸作

公立福生病院

市川重司

医療安全対策講座

東京都済生会中央病院

江田哲男

胸部単純撮影講座

日放技教育委員

野口幸作

画像診断用解剖学講座（X-P、CT、MRI画像を中心に）

公立福生病院

市川重司

入会案内

東京臨海病院

野口幸作

参加人数：84名（非会員84名）

6) きめこまかな生涯教育

(1) 第52回きめこまかな生涯教育

開催日時：平成26年5月31日（土）14時30分～18時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「血管撮影入門」

講師：「血管撮影装置の基礎（装置について）」

	東芝メディカルシステムズ株式会社	富田泰行
「頭部領域」	国家公務員共済組合連合会虎の門病院	依田彰吾
「血管（胸部～四肢）領域」		
	杏林大学医学部付属病院	岩本敏彦
「腹部領域」	東京医科大学病院	松本 亘
「心臓領域」	榊原記念病院	武田和也

参加人数：39名（会員39名）

(2) 第53回きめこまかな生涯教育

開催日時：平成26年10月25日（土）15時00分～18時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「MRIを理解する（初心者向け）」

講師：「核磁気共鳴現象、MR 信号」	東京大学医学部附属病院	鈴木雄一
「励起と緩和について」	東京大学医学部附属病院	鈴木雄一
「TR・TE パルスシーケンスについて」		
	東京慈恵会医科大学附属第三病院	北川 久
「kスペースと画像再構成について」		
	東京慈恵会医科大学附属第三病院	北川 久

参加人数：41名（会員40名、非会員1名）

(3) 第54回きめこまかな生涯教育

開催日時：平成27年2月21日（土）15時00分～18時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「乳腺超音波」

講師：「超音波の原理（乳腺超音波装置）」

	東京慈恵会医科大学附属柏病院	井野貴明
「乳腺超音波検査の基礎」	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	田久亮子
「MMG画像、MRI画像と超音波画像の対比」		
	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	熊谷史範

参加人数：21名（会員21名）

7) 第14回（公社）東京都診療放射線技師会・（公社）日本放射線技術学会東京部会合同学術講演会

開催日時：平成26年9月11日（木）19時00分～20時30分

開催場所：東京慈恵会医科大学 高木2号館南講堂

テーマ：「医療クラウドの利用価値とは？」

講師：「クラウド最新事情と医療現場での活用方法」

	株式会社インターネットイニシアティブ	榊 里美
「病院情報システムの安全管理と災害対策バックアップシステム」		
	東京大学医学部附属病院企画情報運営部講師	田中勝弥

参加人数：51名（会員38名、非会員11名、一般・学生2名）

8) 第7回MRI集中講習会

開催日時：平成27年2月7日（土）13時30分～18時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

講師：「原理（基礎）および安全管理」

	杏林大学医学部付属病院	宮崎 功
「パルスシーケンスおよび高速撮像法（パラレルイメージング）」		
	虎の門病院	高橋順士
「アーチファクト」	公立福生病院	野中孝志
「脂肪抑制」	東京慈恵会医科大学附属第三病院	北川 久
「専門試験問題解説（過去問を中心に）」		
	東京慈恵会医科大学附属第三病院	北川 久

参加人数：54名（会員45名、非会員9名）

9) 日暮里塾ワンコインセミナー

(1) 第33回日暮里塾ワンコインセミナー（フレッシュャーズセミナー同時開催）

開催日時：平成26年5月25日（日）9時00分～17時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

講師：5) 平成26年度診療放射線技師のための「フレッシュャーズセミナー」に記載

参加人数：84名（非会員84名）

(2) 第34回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成26年7月4日（金）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「ベットのサイドモニター」

講師：日本光電東京株式会社 関谷正己

参加人数：30名（会員25名、非会員1名、一般・学生4名）

(3) 第35回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成26年7月12日（土）15時00分～18時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「興味をもとう！統計学」

講師：国立がん研究センター中央病院 永井優一、島田直毅

参加人数：16名（会員12名、非会員4名）

(4) 第36回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成26年9月30日（火）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「GRID技術最新事情『Fiber Grid』&『Virtual Grid』」

講師：

第1部「Fiber Grid」 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン 植田 護

第2部「Virtual Grid」 富士フイルムメディカル株式会社 浅野省二

参加人数：31名（会員30名、非会員1名）

(5) 第37回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成26年10月3日（金）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「画像を見る目を養う～着眼点～」～CT検査における頭痛と外傷のケース～

講師：

第1部「頭部CT検査（主訴－頭痛）の着眼点」 東京慈恵会医科大学附属柏病院 庄司友和

第2部「頭部CT検査（主訴－外傷）の着眼点」 東京慈恵会医科大学附属柏病院 庄司友和

参加人数：52名（会員50名、非会員2名）

(6) 第38回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成26年11月5日（水）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「画像を見る目を養う～着眼点～」～関節痛（肩関節痛、股関節痛）～

講師：

第1部「主訴（肩関節痛）のX-P 画像の着眼点」 春日部市立病院 工藤年男

第2部「主訴（股関節痛）のX-P 画像の着眼点」 春日部市立病院 工藤年男

参加人数：77名（会員60名、非会員1名、一般・学生6名）

(7) 第39回日暮里塾ワンコインセミナー（第13地区研修会合同開催）

開催日時：平成26年11月18日（火）19時00分～20時30分

開催場所：三鷹産業プラザ

テーマ：「画像を見る目を養う～着眼点～」～腹部（腹痛）編～

講師：

第1部「腹部（上腹部痛〈消化管関係〉）のX-P画像の着眼点」

東京都済生会中央病院 江田哲男

第2部「腹部（下腹部痛〈婦人科、泌尿器科領域〉）のX-P画像の着眼点」

公立福生病院 市川重司

参加人数：77名（会員68名、非会員9名）

(8) 第40回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成26年12月2日（火）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「画像を見る目を養う～着眼点～」～麻痺 MRI編～

講師：東京大学医学部附属病院 鈴木 雄一

参加人数：56名（会員51名、非会員4名、一般・学生1名）

(9) 第41回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成26年12月9日（火）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「学術教育が選んだ発表演題」～入会促進セミナー～

講師：

①「DSA非搭載心臓カテーテル専用装置を使用した下肢動脈炭酸ガス造影法の検討」

河北総合病院

渡邊真弓

②「頭部領域における3D T1WIシーケンスに関する基礎検討（マイクロTEシーケンスの磁化率アーチファクトについて）」

日本大学医学部附属板橋病院

磯川浩治

③「当院の接遇への取り組みについて」

ライフ・エクステンション付属永寿総合病院

松永麻美

④「胸部X線ポータブル撮影におけるクライテリアの構築」

公益財団法人日本心臓血管研究振興会附属榊原記念病院

比企修一

⑤「滅菌済X線プロテクショングローブの有用性」

国立がん研究センター中央病院

北川まゆみ

⑥「全脊柱撮影における女性の生殖腺防護の検討」

昭和大学藤が丘病院

林 映里

⑦「散乱補正が線条体解析ソフトの解析値に与える影響」

順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター

木村 聡

⑧「ブラキセラピーにおけるシード治療術後のCT撮影条件の検討」

日本大学医学部附属板橋病院

市川篤志

参加人数：28名（会員28名）

(10) 第42・43回日暮里塾ワンコインセミナー（連続開催）

開催日時：平成27年1月24日（土）14時30分～18時15分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「乳腺装置の管理」

講師：

第1部「マンモグラフィの基礎物理 装置の構成、特性X線、スペクトル」

公益財団法人東京都医療公社東京都がん検診センター

高嶋優子

第2部「品質管理—受入試験、日常管理」

公益財団法人東京都医療公社東京都がん検診センター

萩原弘之

第3部「装置評価—胸壁端の評価、AECの評価、焦点評価」

さいたま赤十字病院

岡田智子

第4部「線量・線質（平均乳腺線量算出まで）」

東京慈恵会医科大学附属柏病院

飯嶋 恵

参加人数：36名（会員32名、非会員4名）

(11) 第43回日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育が行く/入会促進＞

開催日時：平成27年3月11日（火）19時00分～20時30分

開催場所：三鷹産業プラザ

テーマ：「画像を見る目を養う～着眼点＜咳＞～」

講師：杏林大学医学部附属病院 山下晃司

参加人数：57名（会員29名、非会員20名、一般・学生8名）

10) 支部研修会

(1) 城東支部研修会

開催日時：平成26年7月18日（金）19時00分～20時30分

開催場所：永寿総合病院 3階多目的ホール

テーマ：「脊椎・脊髄疾患～脊柱側弯症について」

講師：永寿総合病院 整形外科部長 河野克己

参加人数：38名（会員36名、非会員2名）

(2) 城北支部研修会

開催日時：平成26年9月12日（金）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「炭水化物が人類を減ぼす」

講師：練馬光が丘病院傷の治療センター 夏井 睦

参加人数：42名（会員29名、非会員3名、一般・学生10名）

(3) 城南支部研修会

開催日時：平成26年11月21日（金）19時00分～20時30分

開催場所：東邦大学医療センター大橋病院 教育棟1F臨床講堂

テーマ：「IVR装置の基礎」

講師：

第1部「最近のIVR用X線装置の特徴」 東芝メディカルシステムズ株式会社

小林耕二

第2部「IVR用X線発生装置の基礎・管理」 小田原循環器病院

宮崎 茂

参加人数：50名（会員39名、非会員6名、一般・学生5名）

(4) 城西支部研修会

開催日時：平成27年3月19日（木）19時00分～20時30分

開催場所：東京医科大学病院 研究教育棟4階第二講堂

テーマ：「『乳腺の画像診断－ここがポイント－』マンモグラフィとMRIマンモを中心に」

講師：東京医科大学病院 朴 辰浩

参加人数：70名（会員54名、非会員9名、一般・学生7名）

11) 地区研修会

(1) 第16地区研修会

開催日時：平成26年10月23日（木）18時30分～20時00分

開催場所：所沢市保健センター2F ホール

テーマ：「TART・SART地区合同研修会」

講師：

「日立3.0T MRIシステムOVAL TRILLIUMのご紹介」

日立メディコCT/MR営業本部

皆川雅登

「当院における乳がん検診の現状と診療放射線技師の関わり」

丸山記念総合病院

芦葉弘志

「体動補正によるLung perfusion CTの精度向上に関する検討」

東京都立多摩総合医療センター

浅野智生

「メーカーが考える3.0T MRIの臨床的価値～メード・イン・ジャパンのチャレンジ～」

日立メディコCT/MR事業部MR本部

西原 崇

「肩関節撮影法～撮影方法のコツを得る～」

春日部市立病院

工藤年男

参加人数：65名（会員48名、非会員7名、一般・学生10名）

(2) 第1地区研修会

開催日時：平成26年10月30日（木）18時30分～20時00分

開催場所：東京通信病院 管理棟5階小講堂

テーマ：「第1回上部消化管撮影の基礎?基準撮影法について～」

講師：公益財団法人東京都予防医学協会 健康支援センター佐藤清二

参加人数：48名（会員31名、非会員17名）

(3) 第6地区研修会

開催日時：平成26年10月31日（金）19時00分～20時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「日本初・循環器特化型イメージングセンターの試み～10,000例が証明する心臓MRI検査のエビデンス～」

講師：心臓画像クリニック飯田橋 小山 望

参加人数：25名（会員21名、非会員4名）

(4) 第13地区研修会（第39回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催）

開催日時：平成26年11月18日（火）19時00分～20時30分

開催場所：三鷹産業プラザ

テーマ：「『画像を見る目を養う～着眼点～』～腹部（腹痛）編～」

講師：

第1部「腹部（上腹部痛〈消化管関係〉）のX-P画像の着眼点」

東京都済生会中央病院

江田哲男

第2部「腹部（下腹部痛〈婦人科、泌尿器科領域〉）のX-P画像の着眼点」

公立福生病院

市川重司

参加人数：77名（会員68名、非会員9名）

(5) 第1地区研修会

開催日時：平成26年11月27日（木）18時30分～20時00分

開催場所：東京通信病院 管理棟5階小講堂

テ ー マ：「第2回上部消化管撮影の基礎～読影に必要な基礎知識～」

講 師：公益財団法人東京都予防医学協会 健康支援センター 佐藤清二

参加人数：40名（会員29名、非会員11名）

(6) 第3地区研修会

開催日時：平成26年11月28日（金）19時00分～20時30分

開催場所：東京医科大学病院 研究教育棟4階第2講堂

テ ー マ：「救急時における撮影 –ここがポイント–」

講 師：

第1部「一般撮影」 国立国際医療センター 若松和行

第2部「CT撮影」 東京医科大学病院 平瀬繁男

第3部「Angio撮影」 東京医科大学病院 松本 亘

参加人数：73名（会員49名、非会員22名、一般・学生2名）

(7) 第4地区研修会

開催日時：平成26年12月4日（木）19時15分～21時00分

開催場所：東京都済生会中央病院 新棟7階第1会議室

テ ー マ：「いまさら聞けない患者対応とマナー」

講 師：東京慈恵会医科大学 栗原重雄

参加人数：65名（会員44名、非会員9名、一般・学生12名）

(8) 第12地区研修会

開催日時：平成27年1月17日（土）15時30分～17時00分

開催場所：公立昭和病院 本館6階会議室A・B

テ ー マ：「バーチャルグリッドと最新FPDについて～もう、ポータブル撮影にグリッドは必要ない～」

講 師：富士フィルムメディカル株式会社 浅野省二

参加人数：29名（会員29名）

(9) 第1地区研修会

開催日時：平成27年1月28日（木）18時30分～20時00分

開催場所：東京通信病院 管理棟5階小講堂

テ ー マ：「第3回上部消化管撮影の基礎～所見用語と症例検討の実際～」

講 師：公益財団法人東京都予防医学協会 健康支援センター 佐藤清二

参加人数：41名（会員28名、非会員11名、一般・学生2名）

(10) 第15地区研修会

開催日時：平成27年2月10日（火）19時00分～20時45分

開催場所：帝京大学医学部附属溝口病院 研究棟6階

テ ー マ：「業務で出会う医療機器を理解しよう！」

講 師：テルモ株式会社 武田達也

日本光電南関東株式会社 千葉政一

参加人数：58名（会員47名、非会員3名、一般・学生8名）

(11) 第1地区研修会

開催日時：平成27年2月10日（火）19時00分～20時30分

開催場所：三井記念病院 外来棟7F講堂

テ ー マ：「心エコー図検査の現状と今後の展望」

講 師：社会福祉法人三井記念病院 遠田栄一

参加人数：43名（会員15名、非会員7名、一般・学生21名）

(12) 第5地区研修会「第5地区のつとめ」

開催日時：平成27年2月12日（木）19時00分～20時00分

開催場所：東京大学医学部附属病院 中央診療棟2リハビリテーション室

テーマ：「無理なく安全に行える起居動作介助方法のポイント」

講師：東京大学医学部附属病院 天尾理恵

参加人数：30名（会員20名、非会員10名）

(13) 第8地区研修会

開催日時：平成27年3月20日（金）19時00分～20時30分

開催場所：東芝病院 2号館4階臨床講堂

テーマ：「みんなの介助～基本動作介助法の基礎知識～」

講師：東芝病院 武末大蔵

参加人数：34名（会員27名、非会員5名、一般・学生2名）

12) 特別委員会研修会

(1) 災害対策委員会研修会

開催日時：平成27年3月7日（土）15時00分～18時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「緊急被ばく医療講習会～3.11を風化させないために～」

講師：国立病院機構災害医療センター 武田聡司、福原かおる、金子貴之
筑波大学 関本道治

参加人数：28名（会員28名）

13) ボランティア活動（地球環境保全活動）

(1) クリーン日暮里21による日暮里駅前清掃活動

開催日時：平成26年7月2日（日）10時00分～11時00分

活動場所：JR日暮里駅周辺

参加人数：14名（会員13名、一般1名）

(2) クリーン日暮里21による日暮里駅前清掃活動

開催日時：平成26年12月20日（土）10時00分～11時00分

活動場所：JR日暮里駅周辺

参加人数：6名（会員6名）

14) 調査アンケートに関する事業

(1) 平成26年度公益社団法人東京都診療放射線技師会アンケート調査

調査内容：各施設における新人教育の実態

調査期間：平成26年12月1日～31日

対象施設数：300施設

有効回答数：100

回答率：33.3%

(2) 第12回ペイシェントケア学術大会アンケート

調査内容：ポータブル撮影の実態調査

調査期間：平成26年5月20日～6月10日

(3) 第13回サマーセミナーアンケート

調査内容：MRI装置の実態調査

調査期間：平成26年9月6日

対象人数：60名

有効回答数：42

回答率：70.0%

(4) 中央区健康福祉まつりアンケート

調 査 内 容：診療放射線技師の認識度調査

調 査 期 間：平成26年10月26日

対 象 人 数：107名

有 効 回 答 数：87

回 答 率：81.3%

2. 放射線医療並びに放射線障害防止の普及啓発に関する事業

各健康フェスティバルに参加出展

(1) 看護フェスタ2014

日 時：平成26年5月17日（土） 10時00分～16時30分

会 場：新宿駅西口広場イベントコーナー

内 容：都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動

来 場 者：108名（会員9名、一般99名、乳がんしこり体験54名、相談5名）

(2) 中央区健康福祉まつり2014

日 時：平成26年10月26日（日）10時00分～15時30分

会 場：中央区保健所2階

内 容：都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動

来 場 者：144名（会員13名、一般131名、乳がんしこり体験116名、相談15名）

(3) OTAふれあいフェスタ2014

日 時：平成26年11月2日（日）～3日（月）9時00分～16時00分

会 場：平和島競艇場 水のエリア

内 容：都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動・無料骨密度測定

来 場 者：770名（会員30名、一般740名、骨密度740名、乳がんしこり体験160名）

3. 放射線機器および資材の改良に関する事業

各種学会や研修会に協力し、医用放射線機器の改良に努力し、もって都民に保健衛生向上に寄与した。

4. 関連団体との連携協調に関する事業

本会では関連機器団体との懇親と調和を目的として、“2015年新春のつどい”を開催した。

開 催 日：平成27年1月15日（木）18時30分～20時00分

会 場：ホテルラングウッド（荒川区日暮里）

参 加 者：190名（会員108、業界66名、招待16名）

5. 図書印刷物の刊行物に関する事業

放射線技術関連学術雑誌「東京放射線」（月刊）を発行し、診療放射線技師・エックス線技師へ有償にて配布、放射線技術・学術の向上ならびに職業倫理の高揚を図った。また、全国の診療放射線技師養成校・放射線関連機関・団体および国立国会図書館ならびに放射線技師教育関係、各都道府県技師会に寄贈した。

誌名「東京放射線」月刊 昭和37年12月13日第三種郵便物認可

	発行状況	ページ数	発行年月日
第61巻	第4号（通巻716号）	40	H26.4.1
	第5号（通巻717号）	72	5.1
	第6号（通巻718号）	44	6.1
	第7号（通巻719号）	36	7.1
	第8号（通巻720号）	48	9.1

第9号 (通巻721号)	48	10.1
第10号 (通巻722号)	56	11.1
第11号 (通巻723号)	64	12.1
第62巻 第1号 (通巻724号)	48	H27.1.1
第2号 (通巻725号)	32	2.1
第3号 (通巻726号)	32	3.1

主な掲載記事

1) 巻頭言	11回
2) 東放技ニュース	12回
3) NEWS拾い読み	9回
4) 行政まつりに関する記事	3回
5) ボランティア活動 (地球環境保全活動) に関する記事	3回
6) 定期総会議事録	1回
7) 誌上講座 臨床検査	6回
8) 誌上講座 Fracture -Cross Search-	6回
9) 学術奨励賞報告	1回
10) 学術新人賞報告	2回
11) 学術研修会・きめこまかな生涯教育に関する記事	14回
12) 東京都診療放射線技師会行事に関する記事	4回
13) 支部・地区活動報告に関する記事	14回
14) 調査アンケートに関する報告	1回
15) パイプライン	11回
16) 日本診療放射線技師会関連記事	2回

その他、会員からの寄稿文など多数掲載

主な贈呈先

東京都総務局行政指導課、東京都衛生局医務部医務課、東京都郵政局郵政部事業課第二業務課、国立国会図書館、首都大学東京図書館、東京歯科大学図書館、慶応大学医学情報センター、駒沢大学図書館、(株) アンダーライン、日本化学技術情報センター、公益社団法人日本診療放射線技師会、公益社団法人日本放射線技術学会、各道府県放射線技師会、全国診療放射線技師養成機関など

6. その他、法人の目的達成に必要な事業

- 1) 本会活動の目標スローガンに基づく事業
 - (一) チーム医療の推進
 - (二) 地球環境と調和した画像診断技術の向上
 - (三) 生涯教育・専門教育の推進

以上、スローガン達成のため特別委員会を設け活動した。

Ⅲ 活動報告

1. 会長・副会長・専門部委員会

【平成26年4月】

- 1日(火) : ホームページ更新作業
- 3日(木) : 第1回理事会／中央医療技術専門学校入学式／日本医療科学大学入学式／「東京放射線」初稿
- 4日(金) : 畦元氏ふるさと支部開設・時局講演会／経理事務作業／
- 5日(金) : 経理事務作業／
- 8日(火) : 第2回選挙管理委員会／城西放射線技術専門学校入学式／編集委員会／学術教育委員会
- 9日(水) : 第13回定款諸規定等委員会／東洋公衆衛生学院入学式
- 10日(木) : 東京電子専門学校入学式
- 14日(月) : 女性技師サミット打合せ会
- 16日(水) : 第1回五役会
- 17日(木) : 広報委員会／第10地区委員会
- 18日(金) : 東京放射線治療技術研修会(鍵担当)／厚生調査委員会／
- 19日(土) : 環境省委託業務「平成26年度原子力災害影響調査等事業(福島県外における住民の個人被ばく線量把握事業)」／東京放射線治療技術研修会(鍵担当)／庶務事務作業／厚生調査事務作業
- 20日(日) : 庶務事務作業
- 21日(月) : 「東京放射線」青焼き／平成25年度期末監査
- 22日(火) : 第14地区委員会／渉外事務作業／
- 23日(水) : 情報委員会
- 24日(木) : 第1回専門部委員会
- 25日(金) : 表彰委員会／看護フェスタ打ち合わせ
- 26日(土) : 日放技・他県技師会との懇談会

【平成26年5月】

- 1日(木) : 「東京放射線」初稿／ホームページ更新作業
- 2日(金) : ホームページ更新作業
- 7日(水) : 倉庫整理
- 8日(木) : 第2回理事会
- 9日(金) : 編集委員会／渉外事務作業
- 12日(月) : 広報委員会／渉外事務作業
- 13日(火) : ホームページ更新作業
- 14日(水) : 第14回定款諸規程等委員会
- 16日(金) : 東京放射線治療技術研修会(鍵担当)
- 17日(土) : 看護フェスタ2014／東京部会春期学術大会式典
- 19日(月) : 情報委員会
- 20日(火) : 一般社団法人東京都病院薬剤師会総会懇親会／厚生調査事務作業／「東京放射線」青焼き／ホームページ更新作業
- 21日(水) : 第2回五役会
- 22日(木) : 武見敬三参議院議員勉強会／総会実行委員

会／厚生調査委員会／ホームページ更新作業

- 23日(金) : 総会打合せ
- 24日(土) : 環境省委託業務「平成26年度原子力災害影響調査等事業(福島県外における住民の個人被ばく線量把握事業)被測定者説明会」
- 25日(日) : 平成26年度フレッシュアーズセミナー(第33回OCNセミナー「入会促進」合同開催)／平成25年度ステーションプラザタワー通常施設総会
- 26日(月) : 渉外事務作業
- 28日(水) : 第10地区委員会
- 29日(木) : 第2回専門部委員会／サニーホール総会打ち合わせ
- 30日(金) : 日放技・他県技師会との懇談会
- 31日(土) : 第52回きめこまかな生涯教育

【平成26年6月】

- 1日(日) : サニーホール抽選会(総会会場)
- 5日(木) : 第3回理事会
- 6日(金) : 他県技師会と懇談
- 7日(土) : 公益社団法人日本診療放射線技師会第74回定期総会／平成26年度第1回日本放射線技師連盟理事会／日放技第2回理事会
- 8日(日) : JJN同窓会総会・懇親会
- 10日(火) : 庶務事務作業
- 11日(水) : 第15回定款諸規程等委員会／渉外事務作業
- 12日(木) : 編集委員会／渉外事務作業
- 13日(金) : 情報委員会
- 14日(土) : 厚生調査事務作業
- 16日(月) : 資格審査委員会／会誌掲載原稿受け渡し／渉外事務作業
- 18日(水) : 第3回五役会／厚生調査委員会／「東京放射線」青焼き
- 19日(木) : 庶務事務作業
- 20日(金) : 第65回総会準備／東京放射線治療技術研修会(鍵担当)
- 21日(土) : 第65回総会準備
- 22日(日) : 第65回定期総会／第12回ペイシェントケア学術大会／第4回理事会
- 23日(月) : ホームページ更新作業
- 26日(木) : 公益社団法人東京都看護協会総会／第3回専門部委員会
- 27日(金) : 平成26年度南関東地域協議会第1回役員会／平成26年度関東甲信越診療放射線技師学術大会拡大役員会
- 28日(土) : 平成26年度関東甲信越診療放射線技師学術大会(茨城)／中央医療学術大会
- 29日(日) : 平成26年度関東甲信越診療放射線技師学術大会(茨城)／東京都提出事業報告確認

【平成26年7月】

- 2日(水) : 東大病院技師長訪問(災害対策委員長就任依頼)／災害対策委員会打ち合わせ(災害

医療センターへのお礼と今後の依頼)／災害対策委員長引継会議

3日(木)：第5回理事会／「東京放射線」初稿

4日(金)：第34回日暮里塾ワンコインセミナー／第54回放射線同友会

5日(土)：日放技第3回理事会

9日(水)：第16回定款諸規程等委員会

12日(土)：第35回日暮里塾ワンコインセミナー

13日(日)：平成26年度基礎技術講習「一般撮影」

16日(水)：第4回五役会

18日(金)：公益社団法人日本診療放射線技師会第75回総会(臨時)／平成26年度城東支部研修会

19日(土)：日放技教育委員幹事会議／地域理事会議

20日(日)：日暮里駅前清掃活動

23日(水)：渉外委員会

24日(木)：第4回専門部委員会

27日(日)：多摩放技レクリエーション大会・親睦会

31日(木)：編集委員会／第10地区委員会

【平成26年8月】

2日(土)：第14地区のつどい

3日(日)：平成26年度第1回静脈注射(針刺しを除く)セミナー

5日(木)：「東京放射線」初稿

7日(木)：総務委員会

8日(金)：災害対策委員会

9日(土)：公益社団法人経理勉強会

12日(火)：編集委員会／ホームページ更新作業

13日(水)：「東京放射線」校正原稿受け渡し

15日(金)：第6地区委員会

18日(月)：情報委員会

19日(火)：「東京放射線」青焼き

26日(火)：施設訪問(順天堂大学医学部附属順天堂医院)

27日(水)：第17回定款諸規程等委員会

28日(木)：第5回専門部委員会

30日(土)：第8回日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会公開合同学術セミナー

【平成26年9月】

4日(木)：第6回理事会／「東京放射線」初稿

5日(金)：ホームページ更新作業

6日(土)：第13回サマーセミナー

7日(日)：千葉県技師会地引網

8日(月)：厚生調査委員会

9日(火)：編集委員会／厚生調査事務作業

11日(木)：第14回合同学術講演会

12日(金)：平成26年度城北支部研修会

16日(火)：情報委員会／第1地区委員会

17日(水)：第5回五役会／広報委員会／「東京放射線」青焼き

18日(木)：第30回診療放射線技師学術大会・第21回東アジア学術交流会

19日(金)：第30回診療放射線技師学術大会・第21回東

アジア学術交流会／渉外事務作業

20日(土)：第30回診療放射線技師学術大会・第21回東アジア学術交流会／全国会長会議／第2回日本放射線技師連盟理事会

21日(日)：第30回診療放射線技師学術大会・第21回東アジア学術交流会

22日(月)：渉外事務作業

24日(水)：中央区健康福祉まつり打合せ／渉外事務作業／ホームページ更新作業

25日(木)：第6回専門部委員会／災害対策委員会

26日(金)：経理事務作業

27日(土)：中間監査準備

28日(日)：平成26年度第2回静脈注射(針刺しを除く)セミナー

30日(火)：第36回日暮里塾ワンコインセミナー／第10地区委員会

【平成26年10月】

2日(木)：第7回理事会／情報・広報・編集合同委員会／「東京放射線」初稿

3日(金)：第37回日暮里塾ワンコインセミナー

5日(日)：経理事務作業

6日(月)：四谷監査法人と打ち合わせ

7日(火)：第18回定款諸規程等委員会

8日(水)：編集委員会

9日(木)：経理事務作業

10日(金)：表彰委員会／厚生調査委員会／広報事務作業

11日(土)：日放技第4回理事会(鈴鹿)・入魂式

14日(火)：日本医療科学大学にて講義

15日(水)：第6回五役会

17日(金)：東京放射線治療技術研究会(鍵担当)／渉外事務作業／ホームページ更新作業

18日(土)：四谷監査法人と打ち合わせ／経理委員会／厚生調査事務作業

19日(日)：中間監査準備

20日(月)：中間監査／厚生調査事務作業

21日(火)：情報委員会／第1地区委員会／「東京放射線」青焼き

23日(木)：TART・SART地区合同勉強会

24日(金)：広報委員会

25日(土)：第53回きめこまかな生涯教育／厚生調査事務作業

26日(日)：山梨県診療放射線技師会レントゲン週間イベント「放射線フェスタ」／中央区健康福祉まつり／経理事務作業

27日(月)：東京CTテクノロジーセミナー(鍵担当)／渉外事務作業

28日(火)：新春座談会収録／広報事務作業

29日(水)：広報事務作業

30日(木)：自民党予算税制に関する政策懇話会／第7回専門部委員会／第1地区研修会／災害対策委員会

31日（金）：第6地区研修会

【平成26年11月】

- 1日（土）：大田ふれあいフェスタ2014準備／ホームページ更新作業
2日（日）：大田ふれあいフェスタ2014
3日（月）：日放技レントゲン週間イベント（横浜・クイーンズスクエア）／大田ふれあいフェスタ2014
4日（火）：全国会長会議／自民党議員懇話会設立総会／ホームページ更新作業
5日（水）：第38回日暮里塾ワンコインセミナー／渉外事務作業
6日（木）：第17回武見セミナー／第8回理事会／情報・広報・編集合同委員会／「東京放射線」初稿／厚生調査事務作業
8日（土）：親睦ボウリング大会
9日（日）：平成26年度第3回静脈注射（針刺しを除く）セミナー／日放技平成26年度第1回選挙管理委員会
11日（火）：編集委員会
12日（水）：広報委員会／厚生調査事務作業
14日（金）：第17回メディカルマネジメント研修会
15日（土）：厚生調査事務作業
17日（月）：「東京放射線」青焼き／ホームページ更新作業
18日（火）：第39回日暮里塾ワンコインセミナー／第10地区委員会／第1地区委員会
19日（水）：第7回五役会／表彰委員会
21日（金）：平成26年度城南支部研修会／渉外事務作業
22日（土）：情報委員会
25日（火）：平成26年度医療従事者ネットワーク連絡会議
27日（木）：第8回専門部委員会
28日（金）：多摩放射線連合会／第3地区研修会
29日（土）：編集委員会
30日（日）：平成26年度基礎技術講習（消化管）

【平成26年12月】

- 2日（火）：第40回日暮里塾ワンコインセミナー
4日（木）：第4地区研修会／「東京放射線」初稿
6日（土）：第9回理事会／第21回役員研修会
7日（日）：日放技教育委員幹事会議
8日（月）：編集委員会／ホームページ更新作業
9日（火）：第41回日暮里塾ワンコインセミナー
11日（木）：災害対策委員会
12日（金）：「東京放射線」青焼き
13日（土）：「東京放射線」青焼き原稿受け渡し
15日（月）：第10地区委員会
16日（火）：渉外事務作業
17日（水）：事務局打ち合わせ
18日（木）：第9回専門部委員会
19日（金）：経理事務作業／渉外事務作業
20日（土）：日放技第5回理事会／日暮里駅前清掃活動

21日（日）：日放技役員ワークショップ／日放技戦略企画室会議

22日（月）：情報委員会／渉外事務作業

25日（木）：渉外事務作業

26日（金）：事務所納め

29日（月）：経理事務作業

【平成27年1月】

- 5日（月）：事務所開き
6日（火）：経理事務作業
7日（水）：庶務事務作業
8日（木）：第10回理事会／情報・広報・編集合同委員会／「東京放射線」初稿
9日（金）：東京都臨床検査技師会新春のつどい
10日（土）：2015年新春のつどい準備
13日（火）：編集委員会／2015年新春のつどい準備
14日（水）：2015年新春のつどい準備／渉外事務作業
15日（木）：2015年新春のつどい
16日（金）：東京放射線治療技術研修会（鍵担当）
17日（土）：第13回ウィンターセミナー／第12地区研修会
19日（月）：災害対策委員会／渉外事務作業
20日（火）：「東京放射線」青焼き
21日（水）：第8回五役会／厚生調査委員会／第6地区委員会／渉外事務作業
23日（金）：第19回定款諸規定等委員会
24日（土）：第41・42回日暮里塾ワンコインセミナー／渉外事務作業
25日（日）：平成26年度第4回静脈注射（針刺しを除く）セミナー
27日（火）：情報委員会／第10地区委員会
28日（水）：第1地区研修会
29日（木）：第10回専門部委員会
30日（金）：日本放射線技師連盟他団体懇話会／広報委員会／東京CTテクノロジーセミナー（鍵担当）
31日（土）：日本放射線技師連盟理事会（役員改選）／基礎技術講習会場設営

【平成27年2月】

- 1日（日）：平成26年度基礎技術講習（放射線治療）／ホームページ更新作業
2日（月）：平成26年度医療従事者ネットワーク講演会講師懇談会／平成26年度医療従事者ネットワーク講演会
3日（火）：庶務事務作業
4日（水）：渉外事務作業
5日（木）：第11回理事会／情報・広報・編集合同委員会／「東京放射線」初稿
7日（土）：第7回MRI集中講習会
8日（日）：日放技平成26年度第2回選挙管理委員会／渉外事務作業
9日（月）：ホームページ更新作業
10日（火）：第1地区研修会／第15地区研修会

11日（水）：経理事務作業
 12日（木）：第5地区研修会／経理事務作業
 13日（金）：編集委員会
 14日（土）：平成26年度第2回南関東地域役員会（拡大）
 16日（月）：情報委員会／災害対策委員会／東京都立ち入検査準備
 17日（火）：第10地区委員会／東京都立ち入検査準備／「東京放射線」青焼き
 18日（水）：第9回五役会
 19日（木）：厚生調査委員会／城東支部合同委員会
 20日（金）：編集委員会／東京放射線治療技術研修会（鍵担当）／ホームページ更新作業
 21日（土）：日放技第6回理事会／第54回きめこまかな生涯教育
 22日（日）：環境省委託事業測定結果報告会・シンポジウム
 26日（木）：第11回専門部委員会
【平成27年3月】
 1日（日）：平成26年度第5回静脈注射（針刺しを除く）セミナー／日放技業務拡大指導者講習会
 2日（月）：城西放射線技術専門学校卒業式
 3日（火）：東京都立ち入検査準備／ホームページ更新作業
 4日（水）：東洋公衆衛生学院卒業式
 5日（木）：第12回理事会／情報・広報・編集合同委員会
 6日（金）：「東京放射線」初稿
 7日（土）：災害対策委員会研修会／災害対策委員会／東京都立入検査準備
 8日（日）：日放技定款諸規程委員会
 9日（月）：四谷監査法人打ち合わせ
 10日（火）：日本医療科学大学学位記授与式／東京都立ち入検査準備
 11日（水）：第44回日暮里塾ワンコインセミナー／東京都立ち入検査準備
 12日（木）：編集委員会／公益法人立入検査事前協議
 13日（金）：中央医療技術専門学校卒業式／東京電子専門学校卒業式／渉外事務作業／ホームページ更新作業
 14日（土）：東京都立入検査準備
 15日（日）：東京都立入検査準備
 16日（月）：東京都立入検査準備
 17日（火）：「公益法人認定法」に基づく東京都立入検査／第1地区委員会
 18日（水）：第10回五役会／表彰委員会
 19日（木）：平成26年度城西支部研修会／東京都立入検査後処理／「東京放射線」青焼き
 20日（金）：東京都立ち入検査後処理／「東京放射線」青焼き追加校正／ホームページ更新作業
 21日（土）：首都大学東京学位記授与式
 22日（日）：東京都柔道整復師診療放射線技師会第22回画像学術研修会

23日（月）：広報委員会／平成26年度決算報告準備
 26日（木）：第12回専門部委員会
 27日（金）：平成26年度決算報告準備
 30日（月）：情報委員会

2. 各地区共通活動

総会・研修会・生涯教育・学術大会・スポーツ大会などの東放技主催事業への協力。会員増員への啓発活動、会員名簿のメンテナンス、東放技会と会員間の案内活動などその活動報告

3. 地区活動報告

【第1地区】

◇地区委員会開催9回
 ◇城東支部合同委員会 平成27年2月19日（木）
 ◇城東支部研修会 平成26年7月18日（金）
 参加人数：会員36名、非会員2名
 ◇地区研修会 平成26年10月30日（木）
 参加人数：会員31名、一般17名
 ◇地区研修会 平成26年11月27日（木）
 参加人数：会員29名、一般11名
 ◇地区研修会 平成27年1月28日（水）
 参加人数：会員28名、一般11名、一般2名
 ◇地区研修会 平成27年2月10日（火）
 参加人数：会員15名、一般7名、一般21名
 ◇中央区健康福祉まつり2014
 平成26年10月26日（日）
 参加人数：会員13名、一般131名

【第2地区】

◇地区委員会開催9回
 ◇城東支部合同委員会 平成27年2月19日（木）
 ◇城東支部研修会 平成26年7月18日（金）
 参加人数：会員36名、非会員2名
 ◇中央区健康福祉まつり2014
 平成26年10月26日（日）
 参加人数：会員13名、一般131名

【第3地区】

◇地区委員会開催10回
 ◇城西支部研修会 平成27年3月19日（木）
 参加人数：会員54名、非会員9名、一般7名
 ◇地区研修会 平成26年11月28日（金）
 参加人数：会員49名、非会員22名、一般2名

【第4地区】

◇地区委員会開催10回
 ◇城南支部研修会 平成26年11月21日（金）
 参加人数：会員39名、非会員6名、一般5名
 ◇地区研修会 平成26年12月4日（水）
 参加人数：会員44名、非会員9名、一般12名
 ◇OTAふれあいフェスタ2014
 平成26年11月2日（日）～3日（月）
 参加人数：会員30名、一般740名

【第5地区】

- ◇地区委員会開催11回
- ◇城北支部合同委員会 平成26年4月24日（火）
- ◇城北支部研修会 平成26年9月12日（金）
参加人数：会員29名、非会員3名、一般10名
- ◇地区研修会 平成27年2月12日（木）
参加人数：会員20名、非会員10名
- ◇日暮里駅前清掃活動 平成26年7月20日（日）
参加人数：診療放射線技師13名、一般1名
- ◇日暮里駅前清掃活動 平成26年12月20日（土）
参加人数：診療放射線技師6名

【第6地区】

- ◇地区委員会開催7回
- ◇城北支部合同委員会 平成26年4月24日（火）
- ◇城北支部研修会 平成26年9月12日（金）
参加人数：会員29名、非会員3名、一般10名
- ◇地区研修会 平成26年10月31日（金）
参加人数：会員21名、非会員4名

【第7地区】

- ◇地区委員会開催6回
- ◇城東支部合同委員会 平成27年2月19日（木）
- ◇城東支部研修会 平成26年7月18日（金）
参加人数：会員36名、非会員2名
- ◇中央区健康福祉まつり2014
平成26年10月26日（日）
参加人数：会員13名、一般131名

【第8地区】

- ◇地区委員会開催6回
- ◇城南支部研修会 平成26年11月21日（金）
参加人数：会員39名、非会員6名、一般5名
- ◇地区研修会 平成27年3月20日（金）
参加人数：会員27名、非会員5名、一般2名
- ◇OTAふれあいフェスタ2014
平成26年11月2日（日）～3日（月）
参加人数：会員30名、一般740名
- ◇地区情報交換会 平成26年8月22日（金）
参加人数：診療放射線技師15名

【第9地区】

- ◇地区委員会開催5回
- ◇城西支部研修会 平成27年3月19日（木）
参加人数：会員54名、非会員9名、一般7名

【第10地区】

- ◇地区委員会開催8回
- ◇城西支部研修会 平成27年3月19日（木）
参加人数：会員54名、非会員9名、一般7名

【第11地区】

- ◇地区委員会開催7回
- ◇城南支部研修会 平成26年11月21日（金）
参加人数：会員39名、非会員6名、一般5名
- ◇地区情報交換会 平成26年8月29日（金）
参加人数：会員9名

- ◇地区情報交換会 平成27年2月27日（金）
参加人数：会員10名、非会員1名

- ◇OTAふれあいフェスタ2014
平成26年11月2日（日）～3日（月）
参加人数：会員30名、一般740名

【第12地区】

- ◇地区委員会開催5回
- ◇地区研修会 平成27年1月17日（土）
参加人数：会員29名

【第13地区】

- ◇地区委員会開催6回
- ◇地区研修会 平成26年11月18日（火）
参加人数：会員68名、非会員9名

【第14地区】

- ◇地区委員会開催9回
- ◇城東支部合同委員会 平成27年2月19日（木）
- ◇城東支部研修会 平成26年7月18日（金）
参加人数：会員36名、非会員2名
- ◇地区情報交換会 平成26年8月2日（土）
参加人数：会員11名、一般2名
- ◇中央区健康福祉まつり2014
平成26年10月26日（日）
参加人数：会員13名、一般131名

【第15地区】

- ◇地区委員会開催6回
- ◇城南支部研修会 平成26年11月21日（金）
参加人数：会員39名、非会員6名、一般5名
- ◇地区研修会 平成27年2月10日（火）
参加人数：会員47名、非会員3名、一般8名
- ◇OTAふれあいフェスタ2014
平成26年11月2日（日）～3日（月）
参加人数：会員30名、一般740名

【第16地区】

- ◇地区委員会開催9回
- ◇城北支部合同委員会 平成26年4月24日（火）
- ◇城北支部研修会 平成26年9月12日（金）
参加人数：会員29名、非会員3名、一般10名
- ◇地区研修会 平成26年10月23日（木）
参加人数：会員48名、非会員7名、一般10名

4. 支部活動報告

城東支部研修会1回
城西支部研修会1回
城南支部研修会1回
城北支部研修会1回

5. 特別委員会活動報告

【表彰委員会】委員会開催3回

◇主な活動内容

- 1) 東京都功労者表彰推薦
- 2) 保健文化賞推薦
- 3) 功労表彰者推薦

◇委員会

第1回委員会 平成26年 9 月17日 (水)
第2回委員会 平成26年11月19日 (水)
第3回委員会 平成27年 3 月18日 (水)

【災害対策委員会】委員会開催7回

◇主な活動内容

- 1) 放射線災害時対応マニュアル策定
- 2) 緊急被ばく医療対応に関するアンケートの検討と実施
- 3) 緊急被ばく医療研修会の実施

◇委員会

第1回委員会 平成26年 8 月 8 日 (金)

第2回委員会 平成26年 9 月25日 (木)
第3回委員会 平成26年10月30日 (木)
第4回委員会 平成26年12月11日 (木)
第5回委員会 平成27年 1 月19日 (月)
第6回委員会 平成27年 2 月16日 (月)
第7回委員会 平成27年 3 月 7 日 (土)

【定款諸規程等委員会】委員会開催7回

◇主な活動内容

- 1) 公益法人としてのコンプライアンスに基づく会務運営をするために、現状の定款および諸規程を見直し更新する
- 2) 定款改正案を策定し理事会に提案をし定期総会にて承認を得た
- 3) 現行の諸規程について、修正および新規策定し理事会にて承認を得た

◇委員会

第13回委員会 平成26年 4 月 9 日 (水)
第14回委員会 平成26年 5 月14日 (水)
第15回委員会 平成26年 6 月11日 (水)
第16回委員会 平成26年 7 月 9 日 (水)
第17回委員会 平成26年 8 月27日 (水)
第18回委員会 平成26年10月 7 日 (火)
第19回委員会 平成27年 1 月23日 (金)

IV 活動報告 (庶務概要)

1. 平成26年度会員数

平成26年度末

	會員數	增	減	差引
正會員	2088	181	101	80
贊助會員	0	0	0	0
計	2088	181	101	80

賛助会員は、定款改正により平成26年11月より正会員へ移行しました。

2. 平成26年度会員動向

新入会員（149名）

第1地区

瀬川 臨	東京逓信病院
足立祐太郎	東京逓信病院
桐原 駿	三井記念病院
鈴木 理沙	こころとからだの元氣プラザ
安藤 千知	駿河台日本大学病院
小笠原純一	半蔵門病院

第2地区

鳥居 純	国立がん研究センター中央病院
佐々木大岳	永寿総合病院
田辺 清菜	浅草病院
柏 勇樹	浅草病院

第3地区

中村香織里	慶應義塾大学病院
大脇 由樹	慶應義塾大学病院
土佐 岬	慶應義塾大学病院
内藤 舞	慶應義塾大学病院
益田 翔太	慶應義塾大学病院
柳田 秀幸	東京新宿メディカルセンター
大谷 勇氣	大久保病院
中山 晶子	東京山手メディカルセンター
田中 靖	東京山手メディカルセンター
谷畑 誠司	東京女子医科大学病院

第4地区

矢作 康市	東京都立広尾病院
山畑 飛鳥	株式会社ドクターネット
中野 詩帆	JR東京総合病院
小牧 由佳	JR東京総合病院
團 麻那美	日本赤十字社医療センター
穂坂 慶高	日本赤十字社医療センター
井上 拓	日本赤十字社医療センター
慶長咲百合	日本赤十字社医療センター
上田万珠代	愛育病院
田中 龍也	福山整形外科・メンタルクリニック
田中 宏和	東京慈恵会医科大学附属病院
** **	*****

第5地区

熊谷 太郎	佐藤病院
壽美田瑛子	東京医科歯科大学医学部附属病院
鳥村 真芳	順天堂大学医学部附属順天堂医院
水野 沙紀	順天堂大学医学部附属順天堂医院
大川 瞬	明理会中央総合病院
小島 理美	北部セントラル病院
高橋 良輔	滝野川病院
田部井勝行	東京大学医学部附属病院

第6地区

飯塚 真	金町中央病院	
柳世 隆	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	
秋葉 桃子	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	
今尾 仁	中央医療技術専門学校	
鈴木 潤	柳原病院	
油原 俊之	東京女子医科大学東医療センター	再
福士 政広	首都大学東京	
平山 孝	東部地域病院	

第7地区

木村 慎一	東京臨海病院
比留間伸二	寿康会病院
垣副 秀則	順天堂東京江東高齢者医療センター
野口 善孝	順天堂東京江東高齢者医療センター
山城 淳	岩井整形外科内科病院
安藤 雅大	江戸川病院
木村 光男	山田記念病院
竹中 祐太	東京都リハビリテーション病院

第8地区

有留	和茂	昭和大学病院
浦田	尚吾	昭和大学病院
渡辺	貴也	昭和大学病院
住近	啓希	昭和大学病院
松本	明彦	昭和大学病院
吉成	美菜	昭和大学病院
大杉	英治	昭和大学病院
佐藤	拓洋	昭和大学病院
内藤	貴章	昭和大学病院
橋本	雄作	昭和大学病院
小野寺	健太	昭和大学病院
渡邊	しおり	昭和大学病院
最上	圭	昭和大学病院
長谷川	哲朗	昭和大学病院
久間	恵	昭和大学病院
平井	隆寛	昭和大学病院
大工原	諒	昭和大学病院
高沢	慶介	昭和大学病院
田村	朋子	昭和大学病院

杉村 英祐 昭和大学病院
樋口 高裕 昭和大学病院
小林 佳史 昭和大学病院
菊池龍太郎 昭和大学病院
坪井 友紀 昭和大学病院
野田 一将 東邦大学医療センター大森病院
巷野 祐介 東京労災病院
關根 俊光 荏原病院

再

第9地区

佐藤 真人 高島平中央総合病院
高木 隆一 高島平中央総合病院
石田 庸一 東京都健康長寿医療センター
平山 健太 西台クリニック
福田 綾 西台クリニック
大松 将彦 帝京大学 医療技術学部
佐藤 祐 板橋中央総合病院
村田 洋美 サン虎ノ門クリニック

第10地区

峯村 浩一 河北総合病院
西沢 真一 河北総合病院
瀧野 尚美 河北総合病院
小林 春美 小原病院
安田 圭佑 立正佼成会附属佼成病院
志田 昂平 立正佼成会附属佼成病院
渡邊 侑子 練馬光が丘病院
竹内 純 荻窪病院
安田 匡宏 慈生会病院

再

第11地区

齋藤 孝史 三軒茶屋病院
島田 亮 至誠会第二病院

第12地区

梶山 貴幸 公立昭和病院
圓城寺純至 公立昭和病院
高野 裕樹 公立昭和病院
大西 真樹 西東京中央総合病院
島田 勇佑 東大和病院
甲斐麻記子 東大和病院
時岡 弘行 東大和病院
向井 雅裕 東大和病院

第13地区

山中 真悟 公立福生病院
佐藤 靖高 公立福生病院
浅野みず江 東京都がん検診センター
福島 啓太 杏林大学医学部付属病院
泉川 充 東京西徳州会病院
土田 彩音 東京西徳州会病院
笹川 茜 東京西徳州会病院
鮎川 幸司 高木病院

内田 亮 永生病院
塚田 亮太 東京慈恵会医科大学附属第三病院
渡辺 紘子 野村病院
奥山 湧斗 野村病院
志田 泰紀 野村病院
雫 好樹 府中恵仁会病院
細野 忠俊 多摩南部地域病院
浦 直樹 多摩南部地域病院
畑田 瞬 多摩南部地域病院
小甲 康隆 多摩南部地域病院
大出水 敏 南多摩病院
古林 佑一

第14地区

川島 修一 千葉愛友会記念病院
大嶽 宏典 千葉愛友会記念病院
五味 祐 佐倉中央病院
藤渕 智康 千葉医療センター
小嶋 敬士 東葛病院
鈴木 貴子 帝京大学ちば総合医療センター
中村 和磨 帝京大学ちば総合医療センター
大野 雅己 国立病院機構 水戸医療センター

第15地区

鶴 真織 西横浜国際総合病院
加藤 仁規 帝京大学医学部附属溝口病院
諸井 里香 昭和大学藤が丘病院
高橋 拓也 昭和大学藤が丘病院
藤平 浩介 昭和大学横浜市北部病院
川崎 美玖 横浜保土ヶ谷中央病院
磯貝 尚美

第16地区

東 武史 原田病院
三好 貴裕 高崎総合医療センター
川崎 昌広

転入 (32名)

第2地区

見尾 京子 八重洲クリニック
石塚 幸絵 八重洲クリニック
皆川 健 八重洲クリニック
本郷 由佳 三井タワークリニック
長谷川明彦 鶯谷健診センター
村上 公一

第3地区

鶴田 恭央 東京医科大学病院
星野 幸宏 目白病院

第4地区

塩谷 修伴 北里大学北里研究所病院
馬庭 淳 パナソニック健康保険組合健康管理センター

三井 美佐 新宿海上ビル診療所
山川 治美 長谷工コーポレーション・長谷工クリニック

第5地区

中村 公行 都立駒込病院
二俣 友紀 ハイメディック・東大病院
松村 善雄 日本医科大学付属病院

第6地区

小林 春美 柳原病院
安部 真治 首都大学東京
石原 光男 東健メディカルクリニック
氏平 治 荒川区保健所健康推進課成人健診係

第7地区

熊谷 芳幸 順天堂東京江東高齢者医療センター
新妻 邦雄 同愛記念病院

第8地区

森田 良昭 東邦大学医療センター大森病院
風川かおり シーメンス・ジャパン(株)
植村 義典 東京蒲田医療センター
斉藤 弘 (財)全日本労働福祉協会
坂井 茂夫 東京労災病院
福地 達夫 N T T 東日本関東病院

第9地区

星 幸雄 東京都老人医療センター
大盛 信行 サン虎ノ門クリニック
林 敬真 日本大学医学部附属板橋病院
伊藤 浩子 愛誠病院
菅原 則明 高島平中央総合病院
徳本 広昭 板橋区医師会病院
井手 敏典
浅沼 祥子

*** **

第11地区

原田 理映 東邦大学医療センター大橋病院
大倉 慶子 自衛隊中央病院
鈴木 峯岐 自衛隊中央病院
河瀬真依子 世田谷区保健センター
土田 吉弘

第12地区

上野 哲雄 公立昭和病院
大森 秀雄

第13地区

島田 尋行 永生病院
中島 浩 JR東京健康管理センター
小島 武 Y' s スタッフコーポレーション
永田 安理 立川北口健診館
高橋 新治 吉祥寺榊原クリニック
佐藤 正義 公立阿伎留医療センター
高橋 芳弘 医療法人財団川野病院

高村 晃弘 医療法人財団良友会 タウンクリニック
宮崎 勝利 東京医科大学病院
望月 安雄 日本医療科学大学保健医療学部
梶谷 敏郎
後藤 俊文

*** **

第14地区

田中 稔 東京慈恵会医科大学附属柏病院
鴨川 悟 大野中央病院
篠塚 雅克 医療法人弘仁会板倉病院
大久保 誠
大多和慶信
遣田 力也
三浦 靖則

第15地区

肥土 彰男 及川医院
藤田 宙二
竹部 英紀
工藤 正幸

第16地区

上平 勉 三愛会総合病院
小笠原 哲 独立行政法人国立病院機構高崎病院
笛木 由貴 みさと健和病院
中川 貴博

会費減額 (12名)

第6地区 杉淵 健造
第6地区 高橋 勝
第7地区 藤浪喜久夫
第8地区 小塚 清巳
第9地区 遠藤 裕二
第9地区 菊川 一晃
第11地区 江口 ルミ
第12地区 上野 哲雄
第13地区 小澤 芳輝
第13地区 中村 章
第14地区 松坂誠太郎
第16地区 古田 達夫

3. 会議の回数

総会1回、理事会11回、専門部委員会12回

4. 主な発行資料および文章に関する事項

- (1) 定期総会開催について
- (2) 学術講演会など講師依頼について
- (3) 広告掲載のお願いについて
- (4) 表彰候補者の推薦について
- (5) 入会案内について

5. 平成26年度物故者に関する件（敬称略）

平成25年度における物故会員は次の方々です。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

鳴原 定義

6. 叙勲などに関する事項（敬称略）

(1) 東京都功労者表彰（知事表彰）

鈴木 啓和 平成26年10月1日

(2) 東京都診療放射線技師会表彰

【特別功労賞】

佐藤 清榮

【功労賞（勤続20年表彰）】

第1地区 小原 伸元 三菱東京UFJ銀行健康センター
第2地区 佐藤 稔 聖路加国際病院
第3地区 草苅 正典 東京都予防医学協会
第3地区 布川 嘉信 慶応義塾大学病院
第3地区 馬場 将光 高洲整形外科内科
第4地区 高橋潤一郎 虎ノ門病院
第4地区 野口 景司 東京慈恵会医科大学附属病院
第5地区 稲葉 玲子 順天堂大学医学部附属練馬病院
第6地区 伊達崎勝教 愛里病院
第6地区 関 のりこ 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
第6地区 蓑田 裕隆 柳原病院
第6地区 室 則子 細田診療所
第7地区 木村 聡 順天堂東京江東高齢者医療センター
第7地区 佐藤友加里
第7地区 高瀬 誠 順天堂東京江東高齢者医療センター
第7地区 野口 幸作 東京臨海病院
第8地区 渡辺 誠 NTT東日本関東病院
第8地区 大津 元春 東邦大学医療センター大森病院
第10地区 木暮 陽介 順天堂大学医学部附属練馬病院

第10地区 榮 健一郎 南町病院
第13地区 黒田奈美子 公立福生病院
第13地区 福田 武俊 ふれあい町田ホスピタル
第14地区 高林 正人 松戸市立病院
第15地区 黒澤 和彦 アムスランドクリニック
第15地区 原子 満 帝京大学附属溝口病院
第15地区 福尾 和史 新百合ヶ丘ステーションクリニック

【小野賞】

第1地区 真田 昭博 杏雲堂病院
第4地区 石丸 幸喜 東京慈恵会医科大学附属病院
第5地区 關 良充 東京北社会保険病院
第6地区 柳原 淑幸 東京さくら病院
第10地区 木暮 陽介 順天堂大学医学部附属練馬病院
第11地区 仲野 誠一 東京共済病院
第11地区 矢作 真一 梅田診療所
第14地区 高林 正人 松戸市立病院
第16地区 中谷儀一郎 日本医療科学大学

【学術奨励賞】

松下淳一 日本大学医学部附属板橋病院
「乳房温存手術後の放射線治療における皮膚線量について－ガウン着用は放射線皮膚炎を増悪させるか？－」

【学術新人賞】

熊谷果南 公立福生病院
「透視装置使用時の術者の被ばく低減の一考察」

【学術新人賞】

龍尾香朱美 JR東京総合病院
「マンモグラフィ検査における業務支援・指導に関する意識調査」

第2号議案 平成26年度決算報告（案）

貸 借 対 照 表

平成 27 年 3 月 31 日現在

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	16,265,085	17,395,124	△ 1,130,039
流動資産合計	16,265,085	17,395,124	△ 1,130,039
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
(2) 特定資産	0	0	0
建物	29,974,310	30,647,890	△ 673,580
土地	32,749,000	32,749,000	0
特定資産合計	62,723,310	63,396,890	△ 673,580
(3) その他固定資産			
建物附属設備	1,896,868	2,094,621	△ 197,753
什器備品	1,060,263	1,236,305	△ 176,042
電話加入権	10,300	10,300	0
その他固定資産合計	2,967,431	3,341,226	△ 373,795
固定資産合計	65,690,741	66,738,116	△ 1,047,375
資産合計	81,955,826	84,133,240	△ 2,177,414
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費	0	33,000	△ 33,000
預り金	6,936	8,250	△ 1,314
1年内返済予定長期借入金	2,220,000	2,220,000	0
流動負債合計	2,226,936	2,261,250	△ 34,314
2. 固定負債			
長期借入金	5,755,000	7,975,000	△ 2,220,000
固定負債合計	5,755,000	7,975,000	△ 2,220,000
負債合計	7,981,936	10,236,250	△ 2,254,314
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	12,895,583	12,895,583	0
指定正味財産合計	12,895,583	12,895,583	0
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(12,895,583)	(12,895,583)	(0)
2. 一般正味財産			
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(49,827,727)	(50,501,307)	673,580
正味財産合計	73,973,890	73,896,990	76,900
負債及び正味財産合計	81,955,826	84,133,240	△ 2,177,414

（注）附属明細書に記載すべき「基本財産及び特定資産の明細」は、財務諸表に対する注記の「2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」の記載により、作成を省略している。

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費			
正会員受取会費	18,943,000	18,229,000	714,000
賛助会員受取会費	2,561,496	2,700,600	△ 139,104
② 事業収益			
研修会事業収益	1,414,000	1,816,580	△ 402,580
親睦会事業収益	1,519,510	1,603,000	△ 83,490
③ 雑収益			
受取利息	3,599	3,253	346
広告収益	1,926,550	1,385,000	541,550
雑収益	687,338	832,111	△ 144,773
経常収益計	27,055,493	26,569,544	485,949
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	1,141,331	1,115,918	25,413
福利厚生費	52,159	12,583	39,576
会議費	4,491,622	3,584,837	906,785
旅費交通費	636,692	617,795	18,897
通信運搬費	2,367,581	2,199,829	167,752
減価償却費	847,318	847,318	0
消耗品費	434,443	82,368	352,075
修繕費	229,312	204,672	24,640
印刷製本費	8,530,730	5,765,549	2,765,181
光熱水料費	166,752	143,449	23,303
管理費	820,704	820,704	0
倉庫使用費	169,921	169,921	0
保険料	71,603	21,430	50,173
支払手数料	23,905	55,709	△ 31,804
租税公課	235,520	237,382	△ 1,862
慶弔費	141,120	162,280	△ 21,160
広報関連費	815,184	844,784	△ 29,600
研究助成費	50,000	50,000	0
原稿料	236,962	136,765	100,197
諸謝金	825,206	862,996	△ 37,790
図書費	28,533	0	28,533
支払利息	142,099	177,196	△ 35,097
雑費	409,610	134,668	274,942
事業費計	22,868,307	18,248,153	4,620,154

科 目	当年度	前年度	増減
②管理費			
給料手当	1,141,332	1,115,917	25,415
福利厚生費	52,158	12,582	39,576
会議費	846,613	675,695	170,918
旅費交通費	45,413	44,065	1,348
通信運搬費	181,597	168,730	12,867
印刷製本費	134,980	91,227	43,753
減価償却費	200,057	200,057	0
消耗品費	108,610	20,592	88,018
修繕費	57,328	51,168	6,160
光熱水料費	41,689	35,863	5,826
管理費	205,176	205,176	0
倉庫使用費	41,759	41,759	0
保険料	17,901	5,357	12,544
支払手数料	5,977	13,927	△ 7,950
租税公課	169,280	170,618	△ 1,338
慶弔費	35,280	40,570	△ 5,290
支払報酬	726,943	633,520	93,423
支払利息	35,525	44,299	△ 8,774
雑費	62,668	20,604	42,064
管理費計	4,110,286	3,591,726	518,560
経常費用計	26,978,593	21,839,879	5,138,714
当期経常増減額	76,900	4,729,665	△ 4,652,765
2. 経常外損益の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	76,900	4,729,665	△ 4,652,765
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	76,900	4,729,665	△ 4,652,765
一般正味財産期首残高	61,001,407	56,271,742	4,729,665
一般正味財産期末残高	61,078,307	61,001,407	76,900
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	12,895,583	12,895,583	0
指定正味財産期末残高	12,895,583	12,895,583	0
Ⅲ 正味財産期末残高	73,973,890	73,896,990	76,900

正味財産増減計算書内訳表
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法 人 計	決算合計 (A)	(参 考)	
	体験活動 他	会員のための 生涯教育事業	相互扶助 表彰親睦	共通	小計				予算 (B)	差異 (A－B)
I 一般正味財産増減の部										
1. 経営増減の部										
(1) 経常収益										
① 受取会費	13,260,100	0	568,290		568,290		5,114,610	18,943,000	17,000,000	1,943,000
正会員受取会費	1,792,627	0	76,826		76,826		692,043	2,561,496	2,500,000	61,496
賛助会員受取会費										
② 事業収益	942,666	471,334	0		471,334		0	1,414,000	1,300,000	114,000
研修会事業収益	0	0	1,519,510		1,519,510		0	1,519,510	2,000,000	△ 480,490
親睦会事業収益	0	0	0		0		0	0	30,000	△ 30,000
③ 受取寄付金										
④ 雑収益	3,599	0	0		0		0	3,599	2,000	1,599
受取利息	1,926,550	0	0		0		0	1,926,550	1,850,000	76,550
広告収益								687,338	500,000	187,338
雑収益	0	360,540	0		360,540		326,798			
経常収益計	17,925,542	831,874	2,164,626	0	2,996,500		6,133,451	27,055,493	25,182,000	1,873,493
(2) 経常費用										
① 事業費										
給料手当	776,105	136,960	228,266		365,226			1,141,331	1,115,000	26,331
福利厚生費	35,468	6,259	10,432		16,691			52,159	25,000	27,159
会議費	2,846,449	272,288	1,372,885		1,645,173			4,491,622	4,459,451	32,171
旅費交通費	573,795	53,814	9,083		62,897			636,692	1,026,765	△ 390,073
通信運搬費	2,347,151	20,430	0		20,430			2,367,581	2,321,906	45,675
減価償却費	836,276	7,361	3,681		11,042			847,318	914,869	△ 67,551
消耗品費	429,012	5,431	0		5,431			434,443	400,000	34,443
修繕費	229,312	0	0		0			229,312	208,000	21,312
印刷製本費	8,386,133	77,107	67,490		144,597			8,530,730	6,398,754	2,131,976
光熱水料費	164,668	2,084	0		2,084			166,752	120,000	46,752
管理費	820,704	0	0		0			820,704	880,000	△ 59,296
倉庫使用費	169,921	0	0		0			169,921	173,389	△ 3,468
保険料	70,708	895	0		895			71,603	80,000	△ 8,397
支払手数料	20,917	0	2,988		2,988			23,905	80,000	△ 56,095
租税公課	235,520	0	0		0			235,520	192,000	43,520
慶弔費	0	0	141,120		141,120			141,120	240,000	△ 98,880
広報関連費	815,184	0	0		0			815,184	800,000	15,184
研究助成費	35,000	15,000	0		15,000			50,000	50,000	0
原稿料	236,962	0	0		0			236,962	300,000	△ 63,038
諸謝金	611,301	213,905	0		213,905			825,206	550,000	275,206
図書費	20,952	7,581	0		7,581			28,533	30,000	△ 1,467
支払利息	139,435	1,776	888		2,664			142,099	224,000	△ 81,901
雑費	365,774	12,501	31,335		43,836			409,610	433,653	△ 24,043
事業費計	20,166,747	833,392	1,868,168	0	2,701,560			22,868,307	21,022,787	1,845,520

②管理費	給料手当	1,141,332	1,141,332	1,115,000	26,332
	福利厚生費	52,158	52,158	25,000	27,158
	会議費	846,613	846,613	840,549	6,064
	旅費交通費	45,413	45,413	73,235	△ 27,822
	通信運搬費	181,597	181,597	178,094	3,503
	印刷製本費	134,980	134,980	101,246	33,734
	減価償却費	200,057	200,057	201,131	△ 1,074
	消耗品費	108,610	108,610	100,000	8,610
	修繕費	57,328	57,328	52,000	5,328
	光熱水料費	41,689	41,689	30,000	11,689
	管理費	205,176	205,176	220,000	△ 14,824
	倉庫使用費	41,759	41,759	42,611	△ 852
	保険料	17,901	17,901	20,000	△ 2,099
	支払手数料	5,977	5,977	20,000	△ 14,023
	租税公課	169,280	169,280	138,000	31,280
	慶弔費	35,280	35,280	60,000	△ 24,720
	支払報酬	726,943	726,943	750,000	△ 23,057
	支払利息	35,525	35,525	56,000	△ 20,475
	雑費	62,668	62,668	66,347	△ 3,679
	管理費合計	4,110,286	4,110,286	4,089,213	21,073
	経常費用計	4,110,286	4,110,286	25,112,000	1,866,593
	評価損益調整前当期経常増減額	2,023,165	2,023,165	70,000	6,900
	基本財産評価損益等				
	特定資産評価損益等				
	投資有価証券評価損益等				
	評価損益等計				
	当期経常増減額	2,023,165	2,023,165	70,000	6,900
	2. 経常外増減の部				
	(1) 経常外収益				
	経常外収益計				
	(2) 経常外費用				
	経常外費用計				
	当期経常外増減額				
	他会計振替額				
	税引前当期一般正味財産増減額	2,023,165	2,023,165	70,000	6,900
	法人税、住民税及び事業税	0	0	0	△ 70,000
	当期一般正味財産増減額	2,023,165	2,023,165	70,000	76,900
	一般正味財産期首残高				
	一般正味財産期末残高				
	指定正味財産増減の部				
	当期指定正味財産増減額				
	指定正味財産期首残高				
	指定正味財産期末残高				
	正味財産期末残高				

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1 重要な会計方針

当法人は「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」並びに「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」の関連する規定に基づき、「公益法人会計基準」（平成20年4月11日、平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、次の方式を採用している。

有形固定資産 定額法

(2) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

2 表示方法の変更

前事業年度において、固定負債の「長期借入金」に含めて表示していた「1年内返済予定長期借入金」は、内容をより明瞭に表示するため、当事業年度より流動負債の部において区分掲記している。この表示方法の変更を反映させるため、前年度の貸借対照表残高は、固定負債の「長期借入金」に含めて表示していた2,220,000円を「1年内返済予定長期借入金」として組み替えている。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	—	—	—	—
特定資産				
建物	30,647,890	0	673,580	29,974,310
土地	32,749,000	0	0	32,749,000
小 計	63,396,890	0	673,580	62,723,310
合 計	63,396,890	0	673,580	62,723,310

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	—	—	—	—
特定資産				
建物	29,974,310	—	(29,974,310)	—
土地	32,749,000	(12,895,583)	(19,853,417)	—
小 計	62,723,310	(12,895,583)	(49,827,727)	—
合 計	62,723,310	(12,895,583)	(49,827,727)	—

5 担保に供している資産

建物29,974,310円（帳簿価額）、土地32,749,000円（帳簿価額）は、長期借入金（1年内返済予定長期借入金を含む）7,975,000円（平成27年3月31日現在残高）の担保に供している。

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建 物			
事務所マンション区分所有権	33,678,999	3,704,689	29,974,310
小 計	33,678,999	3,704,689	29,974,310
土 地			
事務所マンション敷地権	32,749,000		32,749,000
小 計	32,749,000		32,749,000
その他固定資産			
建物附属設備			
電気設備工事	170,000	60,746	109,254
スチールパーティション	1,079,469	385,728	693,741
スライディング遮音ドア	1,702,082	608,209	1,093,873
小 計	2,951,551	1,054,683	1,896,868
什器備品			
会旗	1,650,000	1,649,999	1
データプロジェクター	379,050	375,258	3,792
X線測定器	551,250	545,738	5,512
映画用スクリーン	120,058	116,456	3,602
壁面収納	676,691	241,802	434,889
ロールスクリーン	218,449	211,895	6,554
寄付者名盤	500,000	260,417	239,583
プロジェクター	182,960	149,417	33,543
耐火金庫	378,525	45,738	332,787
小 計	4,656,983	3,596,720	1,060,263
電話加入権			
固定電話（03-3806-7724）	10,300		10,300
小 計	10,300		10,300
合 計	74,046,833	8,356,092	65,690,741

7 重要な後発事象

該当なし

財 産 目 録

平成 27 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として	335,481
		＜普通預金＞		
		三井住友信託銀行新橋支店 1	運転資金として	451,279
		三井住友信託銀行新橋支店 2	同上	1,976,343
		みずほ銀行八重洲口支店	同上	3,173,844
		三井住友銀行日暮里支店	同上	456,934
		＜振替貯金＞		
		ゆうちょ銀行振替口座	運転資金として	4,871,204
		＜定期預金＞		
三井住友信託銀行新橋支店	運転資金として	5,000,000		
		＜現金・預金計＞	16,265,085	
流動資産合計			16,265,085	
(固定資産)				
特定資産	建物	マンション区分所有権 505号室 119.96㎡ 荒川区西日暮里2 - 411 - 15	(共用財産) うち公益目的保有財産 78.5% うち収益事業等使用財産1.5% うち管理目的使用財産 20.0% ＜建物計＞	29,974,310 23,529,834 449,614 5,994,862 29,974,310
		敷地権 持分2,842.60㎡の100万分の8543 荒川区西日暮里2 - 411 - 15	(共用財産) うち公益目的保有財産 78.5% うち収益事業等使用財産1.5% うち管理目的使用財産 20.0% ＜土地計＞ ＜特定資産計＞	32,749,000 25,707,965 491,235 6,549,800 32,749,000 62,723,310
その他の固定資産	建物附属設備	電気設備工事	(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0%	109,254 87,403 21,851
		スティー爾パーティーション	(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0%	693,741 554,993 138,748
		スライディング遮音ドア	(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0%	1,093,873 875,099 218,774
			＜建物附属設備計＞	1,896,868
	什器備品	会旗 1 流	(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0%	1 1 0
		データプロジェクター 1 台	(公益目的保有財産)	3,792
		X線測定器 1 台	(公益目的保有財産)	5,512
		映画用スクリーン 1 台	(公益目的保有財産)	3,602
		壁面収納	(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0%	434,889 347,912 86,977

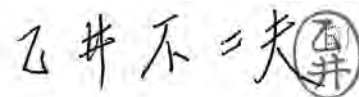
貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	什器備品	ロールスクリーン 1 台	(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0%	6,554 5,244 1,310
		寄付者名盤 1 式	(共用財産) うち公益目的保有財産 78.5% うち収益事業等使用財産 1.5% うち管理目的使用財産 20.0%	239,583 188,074 3,593 47,916
		プロジェクター 1 台	(公益目的保有財産)	33,543
		耐火金庫	(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0%	332,787 266,229 66,558
			＜什器備品計＞	1,060,263
	電話加入権	固定電話1件：03-3806-7724	(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0%	10,300 8,240 2,060
			＜電話加入権計＞	10,300
			＜その他固定資産計＞	2,967,431
固定資産合計		うち公益目的保有財産 うち収益事業等使用財産 うち管理目的使用財産		65,690,741 51,617,443 944,442 13,128,856
資産合計				81,955,826
(流動負債)	預り金 1 年内返済 長期借入金	事務職員他 三井住友信託銀行新橋支店	源泉所得税他 公益目的事業及び収益事業等並びに管理目的の業務に使用する土地・建物の購入資金として (1 年内返済予定額)	6,936 2,220,000
流動負債合計				2,226,936
(固定負債)	長期借入金	三井住友信託銀行新橋支店	公益目的事業及び収益事業等並びに管理目的の業務に使用する土地・建物の購入資金として	5,755,000
固定負債合計				5,755,000
負債合計				7,981,936
正味財産				73,973,890

平成26年度監査報告

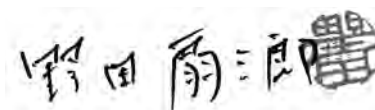
公益社団法人 東京都診療放射線技師会
会 長 篠 原 健 一 殿

平成27年4月21日

公益社団法人 東京都診療放射線技師会
監 事



公益社団法人 東京都診療放射線技師会
監 事



私たち監事は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。
その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しましたしさらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討しました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

一事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

I. 総括

わが国は今年で戦後70年の節目を迎える。安倍晋三首相は70年を振り返り「平和国家としての歩みはこれからも変わらない」と強調するとともに「次なる80年、90年、100年に向け、日本は積極的平和主義の旗の下、世界の平和と安定に一層貢献していかなければならない。この明確な意思を世界に発信したい」と述べた。“アベノミクス”において、医療は第三の矢（成長戦略）の重要な要素と位置付けられたが、われわれ日本の診療放射線技師も国内にとどまらず世界に対して診療放射線技術（人材）の発展・普及、ひいては経済や社会の安定に寄与できるものと確信している。

昨年6月18日、第186国会において業務範囲拡大などに関する診療放射線技師法改正を含む「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備などに関する法律案」が成立した（同6月25日公布、一部即日発効を除き本年4月1日発効）。これに伴う国民の皆さまの安心・安全な医療推進のための講習会などについて必要な事業を推進する所存である。

また、公益社団法人日本診療放射線技師会の重要な政策である。

- ①がん対策基本計画に基づく診療放射線技師の充実及び環境整備
- ②チーム医療を推進するための診療放射線技師の活用
- ③医療安全のための適切な管理体制の構築

1) 医療放射線による被ばくの管理体制 2) 放射線関連医療機器の管理体制 3) 画像データの管理体制

- ④養成教育の四年制大学化への移行及び卒後臨床研修の制度化
- ⑤緊急被ばく並びに医療被ばくに対応するための専門官の配置
- ⑥放射線の教育・普及啓発活動に対する診療放射線技師の活用
- ⑦診療放射線技師法の改正

などについても引き続き協働して推進していく。

本年は1895年にレントゲン博士（Wilhelm Conrad Röntgen）がエックス線を発見してから120周年の記念の年でもある。関連の記念行事に会員の積極的な参加を促し、一般の方々や他職種への啓発・情報普及を図るとともに、2020年東京オリンピックに向け、海外の人々が日本の医療機関を受診した際に少しでも安心できるような診療放射線技師の育成（語学・接遇など）にも着手したいと考える。

われわれは国民の信頼にこたえ、医療安全の確保、医療及び公衆衛生の向上に寄与すべく「チーム医療を推進し、国民及び世界に貢献する診療放射線技師の育成」をスローガンとして各種事業を展開していく。そして、高性能化・多様化する医療機器、高度化する医療技術を学ぶ機会を供するとともに、エビデンスに基づいた医療技術を発展・普及させていかなければならない。広告のできる認定技師制度、領域別読影専門技師の育成、業務の診療報酬への反映、関連法令の改訂など、政策立案が必要であり、診療放射線学の発展に寄与すると共に生涯教育・専門教育・各種認定・業務範囲の拡大に伴う研修など、公益社団法人日本診療放射線技師会をはじめとした関連団体と適切に連携・協力しながら推進していく所存である。また、被ばく相談、各種検査受診の啓発や不安解消、骨密度測定、マンモ触診体験、ピンクリボン運動への参加など、都民の中に入っていく公益事業も引き続き推進する。災害対応への意識を風化させないために、防災・減災・緊急被ばく医療・BCP（事業継続計画）なども災害対策委員会を中心に活動していく。

会員諸氏のより一層のご支援とご協力をお願いする次第である。

Ⅱ. 定款に基づく本会の事業

(目的)

この法人は、診療放射線学の向上発展と放射線障害の防止に関する事業を推進するとともに、東京都における診療放射線技師の職業倫理を高揚することにより、放射線検査・治療技術の質の確保と都民の健康および医療、ならびに保健の質の維持発展に寄与することを目的とする。

(事業)

この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業
- (2) 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業
- (3) 放射線関連機器の安全管理を推進する事業
- (4) 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進
- (5) 前各号の主旨を目的とした学術誌の刊行
- (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業、及び放射線関連機器の安全管理を推進する事業

東京都民、本会会員、診療放射線技師および医療従事者を対象に下記の事業で知識の啓発普及を行います。また診療放射線技師においては、職業倫理を高揚し保健の質の維持発展および公衆衛生の向上に寄与します。この事業を通して、放射線災害や放射線事故に備えて、会員および広く診療放射線技師に対して緊急事態時における放射線測定や放射能除去の訓練を常日ごろより行うとともに、東京都民に対する啓発や知識の普及を行います。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

1) ペイシェントケア学術大会

開催時期：6月 土曜日

開催場所：日暮里サニーホールまたは東京都内のイベントホール

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

後 援：東京都および開催場所の市または区

実施内容：ペイシェントケアをテーマに患者医療に関する公開講演会およびシンポジウムを実施します。

2) サマー・ウインターセミナー

開催時期：8月および1月下旬 土曜日

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：最新の診療放射線機器の情報提供を機器メーカー側とユーザーである会員側から、それぞれの立場で講演を行います。また放射線災害や放射線事故に備えて、緊急事態時における放射線測定や放射能除去の方法を実習など取り入れながら行います。

3) メディカルマネジメント研修会

開催時期：11月中旬

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：診療放射線技師をはじめ医療職の管理職を対象に危機管理や経営学をはじめ、各業界から専門家を招いて研修を行います。

4) 合同学術講演会

開催時期：9月上旬

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会・公益社団法人日本放射線技術学会東京支部

実施内容：東京都内の診療放射線技師が所属する2団体での合同企画であり、講師に診療放射線技師はもとより、医師、看護師をはじめとしたメディカル分野の専門家、および有識者を招きます。

- 5) 診療放射線技師の民間の給与、放射線医療に関する実態調査および各種研修会および講演会にてアンケートを実施し、その動向を調査し、今後の活動に生かす情報取得に努めます。これらの情報は、学術誌やホームページを通じて公表します。

2. 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業

東京都民を対象に下記の事業にて放射線医療および放射線障害防止の知識の啓発普及を行います。それぞれのイベントでは展示ブースなどを設置し、写真やパネルの展示、パンフレットおよび本会学術誌の配布を行います。また一般参加者からの医療被ばく相談や放射線に関する質問に対しては、会員が応対し、無料で適切なアドバイスをを行います。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

1) ピンクリボンウオーク2015

開催時期：4月5日

開催場所：日比谷公園

主 催：認定NPO法人乳房健康研究会

実施内容：パンフレット配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、学術誌配布

2) 看護フェスタ2015

開催時期：5月16日

開催場所：新宿駅西口広場イベントコーナー看護フェスタ2015会場

主 催：公益社団法人東京都看護協会

実施内容：パンフレット配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、診療放射線技師の進路相談、放射線クイズ、学術誌配布

3) 中央区健康福祉まつり

開催時期：10月下旬 日曜日

開催場所：中央区あかつき公園・福祉センター・中央区保健所

主 催：中央区

実施内容：パンフレット配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、学術誌配布

4) OTAふれあいフェスタ2015

開催時期：11月初旬 土・日曜日

開催場所：平和島競艇場内水の広場

主 催：大田区

実施内容：パンフレット配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、骨密度測定、学術誌配布

5) 医療被ばくや放射線に関する相談への対応

ホームページを利用して一般の方からの医療被ばく相談や放射線に関する質問に適切にアドバイスを行います。

3. 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進

- 1) 東京都福祉保健局医療政策部と連携を図り、医療従事者ネットワークに参加する医療専門職関連団体との連携を強化し、医療におけるさまざまな諸問題について協議を行い、改善を図ります。
- 2) 公益社団法人日本診療放射線技師会の生涯教育セミナー、臨床実習指導教員、放射線機器管理士および放射線管理士講習会などの事業に協力します。関東甲信越診療放射線技師学術大会を共催し、関東甲信越地域の放射線技師会との連携を図ります。
- 3) 放射線関連団体、医療関連機関、医療関連職能団体との交流を促進します。
- 4) 東京都内の診療放射線技師を養成する大学などと連携し、本会刊行物の無料配布を通じて診療放射線技師が果たす医療の役割を理解していただく啓発活動を行います。

4. 前各項目の主旨を目的とした学術誌の刊行

1) 学術誌「東京放射線」の刊行。

月刊誌「東京放射線」を発行し、会員に配布するとともに国立国会図書館、医療関連機関、全国の放射線技師会および診療放射線技師を養成する大学などに寄贈します。またイベントの展示ブースにて、都民をはじめ一般の方に広く配布します。

2) 本会の活動に関する図書の刊行。

診療放射線技師および放射線医療に役立つ学術資料を刊行します。

5. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1) 診療放射線技師の生涯教育を行います。

診療放射線技師のエキスパートにより、少人数制で専門的で高度な技術を習得し、診療放射線技師の生涯教育の目的で行います。またフレッシューズセミナー、各種基礎技術講習、静脈注射講習会など、公益社団法人日本診療放射線技師会との共催として開催し、技師としての礎を築くことができるようにいたします。これらを通じて入会促進に努めます。

2) 専門技術および資格の取得に向けた講習会を行います。

他団体と連携を図り、専門技術のさらなる習得と認定技師制度に基づく取得を目的に、きめこまかな生涯教育、MRI集中講習会を開催します。

3) 日暮里塾ワンコインセミナー（NOC）と称して、本会事務所研修センターにて、医療・健康・放射線技術などのさまざまなテーマで、誰でも参加できるセミナーを行います。

4) 本会は、定款諸規程および内規に則って運営を行います。この定款諸規程を現状の組織運営に適した修正作業を行います。

5) 組織の活性化、新卒者などの入会促進のための活動を行います。更に雇用の促進と確保に努めます。

6) 会員の中から、叙勲、厚生労働大臣表彰、東京都知事表彰、医療功労者表彰などへの申請を行います。また本会における規定の表彰を行います。

7) 学術誌「東京放射線」のデータ化に努め、資料を残せる体制の強化に努めます。

8) 地球環境保全活動の推進のため、地域の清掃活動などに参加します。また禁煙運動を促進し、健康の普及を推進します。

Ⅲ. 委員会事業計画

平成27年度の各委員会の事業計画が次のように企画されています。会員の皆さまのご協力をお願いします。なお、日時および詳細につきましては当該委員長にお問い合わせください。

1. 専門部委員会

総務委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年6回開催する。
- ・総会の準備を行う。
- ・理事会の準備を行う。
- ・中間監査の準備を行う。
- ・期末監査の準備を行う。
- ・新春のつとめの準備を行う。
- ・役員研修会の準備を行う。
- ・役員選挙の準備を行う。

庶務委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年4回開催する。(不定期)
- ・会員データベースの再構築を目的に、会員一人ひとりの調査を行う。
- ・委員長と委員との情報の共有化に努める。
- ・会員動向の調査を行い、会員維持の方策を検討する。

編集委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年12回開催する。(毎月第2～3週に開催予定)
- ・会誌の校正を紙面およびPDFファイルを使用しておこない、8月を除く毎月1日に発行する。
- ・過去の写真データの電子化ならびに管理システムを構築する。
- ・会誌進呈先の再検討を行う。
- ・東放技ロゴマークの活用方法を検討する。

学術教育委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年11回開催する。(毎月第1水曜日開催予定)
- ・ペイシェントケア学術大会を開催する。(平成27年6月開催予定)
- ・サマー・ウインターセミナーを開催する。(平成27年8月、平成28年2月開催予定)
- ・きめこまかな生涯教育を開催する。(平成27年5月、10月、平成28年2月開催予定)
- ・日暮里塾ワンコインセミナーを開催する。(地区との合同開催も含む適時開催予定)
- ・メディカルマネジメント研修会を開催する。(平成27年11月第2木曜日開催予定)
- ・合同学術講演会を開催する。(平成27年9月第2木曜日開催予定)
- ・MRI集中講習会を開催する。(平成28年2月開催予定)

広報委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・一般市民に対する骨密度無料測定・放射線被ばく相談・放射線検査や放射線に関わる資料の無料配布・放射線検査に関する説明・乳がん検診(検査)の紹介と乳がんのしこり体験などを通して、放射線に関する普及・啓発活動を行う。
- ・委員会を年11回開催する。
- ・健康福祉まつり・イベントへ参加する。

- ・幟（のぼり）作製の検討を行う。
- ・都民への配布資料を作成する。

厚生調査委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・会員へ必要とされる情報の収集活動と分析・都民への診療放射線技師の認識調査および広報活動・会員への親睦活動を中心に事業を展開する。
- ・委員会を年10回開催する。
- ・業務関係・給与関係・技師会活動関係などのアンケート調査を行う。
- ・広報委員会、学術教育委員会に関係するアンケート調査を行う。
- ・使用済み切手の収集活動を行う。
- ・都内病院施設の名簿管理を行う。
- ・募金活動などの企画を提案する。
- ・会員親睦行事を開催する。

情報委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を12回開催する。（毎月第3週火曜日開催予定）
- ・ホームページを定期的に作成・更新を行う。
- ・東京都診療放射線技師会主催行事・研修会・イベント開催案内を掲載する。
- ・関係団体主催行事・研修会・イベント開催案内を掲載する。
- ・学術大会等開催案内を掲載する。

渉外委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・表彰委員会の準備を行う。
- ・叙勲およびその他の団体表彰候補者の推薦を行う。
- ・日本診療放射線技師会へ功労表彰・永年勤続表彰候補者の推薦を行う。
- ・東京都診療放射線技師会 各功労賞候補者および団体の推薦を行う。

2. 地区（支部）委員会

第1地区

- ・地区研修会・情報交換会を開催する。（平成28年2月に第1地区研修会を開催予定、平成27年7月と12月に情報交換会を開催予定）
- ・支部研修会を開催する。（平成27年7月または11月頃開催予定）
- ・地区委員会を年11回開催する。（毎月第3火曜日開催予定）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール・直接出向くなどで積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・地区委員を増やす。
- ・地区のHPを作成する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域）⑤学術講演会⑥親睦行事⑦新春のつどい など

第2地区

- ・地区研修会・情報交換会を開催する。（平成27年11月に第2地区研修会を開催予定）
- ・支部研修会を開催する。（平成27年7月に城東支部研修会を開催予定）
- ・地区委員会を年6回開催する。（拡大理事会開催月第3曜日開催予定）

- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・中央区健康福祉まつり（被ばく相談・乳房しこり触診体験）への参加（平成27年10月に開催予定）
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域）⑤学術講演会⑥親睦行事⑦新春のつどい など

第3地区

- ・地区主催活動（おもに研修会）を通じて活性化を図る。
- ・城西支部研修会の開催補助。
- ・第3地区研修会を開催する。
- ・地区委員会を年6回開催する。（理事会開催月 第3木曜日開催予定）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行い活動・情報伝達の充実を図る。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行い充実した地区活動につなげる。
- ・小野賞を選考する。
- ・地区委員が積極的に本部・各支部行事に参加し、会全体の活性化を図る。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②ペイシエントケア学術大会③学術研修会④きめこまかな生涯教育⑤学術講演会⑥学術大会（日放技・関東甲信越地域）⑦地域環境保全活動⑧新春のつどい など

第4地区

- ・地区主催活動（おもに研修会）を通じて活性化を図る。
- ・城南支部研修会の開催補助を行う。（第11地区主導開催予定）
- ・第4地区研修会を開催する。
- ・OTAふれあいフェスタへの積極的な参加。
- ・地区委員会を年6回開催する。（隔月第3水曜日開催予定）
- ・地区委員会を年6回メール会議にて開催する。
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行い活動・情報伝達の充実を図る。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行い充実した地区活動につなげる。
- ・小野賞を選考する。
- ・地区委員が積極的に本部・各支部行事に参加し会全体の活性化を図る。
- ・支部内の地区との連絡を密にし、連携を強化していく。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域）⑤学術講演会⑥親睦行事⑦新春のつどい⑧OTAふれあいフェスタ など

第5地区

- ・地区研修会・情報交換会を開催する。（平成28年2月に第5地区研修会を開催予定）
- ・支部学術研修会を開催する。（平成27年10月頃に城北支部研修会を開催予定）
- ・地区委員会を年11回開催する。
- ・パンフレット（第5地区見聞五録／第5地区だより）を郵送し、また電話・メールなどで積極的に情報共有と活性化を図る。
- ・地区行事に参加した非会員にパンフレットを配布し、入会促進を図る。
- ・地区会員名簿の確認と更新を行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・クリーン日暮里21（主催 荒川区青少年日暮里地区委員会）に参加し日暮里駅前清掃活動を行う。（原則20日で

日曜日・祝日にあたる日)

- ・荒川クリーンエイド活動に参加する。(平成27年10月開催予定)
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会(日放技・関東甲信越地域)⑤学術講演会
⑥親睦行事⑦新春のつどい など

第6地区

- ・地区(研修会・情報交換会)を開催する。(平成27年11月頃に第6地区研修会を開催予定)
- ・支部研修会を開催する。(平成27年10月頃に城北支部研修会を開催予定)
- ・地区委員会を年6回開催する。(奇数月第3水曜日開催予定)
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会(日放技・関東甲信越地域)⑤学術講演会
⑥親睦行事⑦新春のつどい など

第7地区

- ・地区研修会・情報交換会を開催する。
- ・城東支部研修会を開催する。
- ・地区委員会を年6回開催する。(隔月第三水曜日開催予定)
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会(日放技・関東甲信越地域)⑤学術講演会
⑥親睦行事⑦新春のつどい など

第8地区

- ・地区研修会・情報交換会を開催する。(研修会 年1回、夏に情報交換会を開催予定)
- ・支部研修会を開催する。
- ・地区委員会を年6回開催する。(隔月第2木曜日開催予定)
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会(日放技・関東甲信越地域)⑤学術講演会
⑥親睦行事⑦新春のつどい など

第9地区

- ・地区研修会・情報交換会を開催する。(平成27年11月に開催予定)
- ・支部研修会を開催する。(平成28年2月に城西支部研修会を開催予定)
- ・地区委員会を年6回開催する。(偶数月第3水曜日開催予定)
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。

- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域）⑤学術講演会⑥親睦行事⑦新春のつどい など

第10地区

- ・地区研修会・情報交換会を開催する。（平成28年3月頃に開催予定）
- ・地区委員会を年10回開催する。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域）⑤学術講演会⑥親睦行事⑦新春のつどい など

第11地区

- ・地区学術研修会を開催する。（平成27年10月頃に東邦大学医療センター大橋病院にて開催予定）
- ・地区情報交換会を開催する。（平成27年8月に夏季情報交換会、平成28年2月に新年情報交換会を開催予定）
- ・地区委員会を年9回開催する。（2月、8月、12月を除く）
- ・地域に貢献するボランティア活動を行う。
- ・未入会者には積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・他地区との交流を積極的に図る。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域）⑤学術講演会⑥親睦行事⑦新春のつどい など

第12地区

- ・地区研修会を開催する。（平成28年1月に第12地区研修会を開催予定）
- ・支部研修会を開催する。（平成28年2月に多摩支部研修会を開催予定）
- ・地区委員会を年6回開催する。（偶数月第3水曜日開催予定）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・町田健康づくりフェアに参加し、市民に骨密度測定・放射線に関する相談や説明・乳癌検診のPRを行う。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域）⑤学術講演会⑥親睦行事⑦新春のつどい など

第13地区

- ・地区研修会を開催する。（平成27年10月開催予定）
- ・支部研修会を開催する。（平成28年2月開催予定）
- ・地区委員会を年6回開催する。（隔月木曜日開催予定）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。

- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域）⑤学術講演会⑥親睦行事⑦新春のつどい など

第14地区

- ・支部研修会を開催する。（城東支部研修会を開催予定）
- ・地区情報交換会を開催する。（平成27年8月に工場見学を開催予定）
- ・地区委員会を年10回開催する。（偶数月第4火曜日を開催予定とし、奇数月は臨時開催）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、またメールなどで入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域）⑤学術講演会⑥親睦行事⑦新春のつどい など

第15地区

- ・地区主催活動として地区研修会を開催する。
- ・城南支部研修会を開催する。（開催担当第11地区のバックアップをする）
- ・地区委員会を年6回開催する。（拡大理事会月第2金曜日開催予定）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行い、情報伝達の充実を図る。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網の充実を図り、地区の活性化につなげる。
- ・城南支部（第4・8・1・15地区）の地区間連携を図る。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②ペイシェントケア学術大会③学術研修会④きめこまかな生涯教育⑤学術講演会⑥学術大会（日放技・関東甲信越地域）⑦地域環境保全活動⑧新春のつどい など

第16地区

- ・地区研修会・情報交換会を開催する。（平成27年10月頃に地区研修会を開催予定）
- ・支部研修会を開催する。（平成27年10月頃に城北支部研修会を開催予定）
- ・地区委員会を年6回開催する。（隔月第4曜木曜日開催予定）
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域）⑤学術講演会⑥親睦行事⑦新春のつどい など

3. 特別委員会

表彰委員会

- ・表彰規定に基づき叙勲およびその他の団体表彰候補者の選考・審査を行う。
- ・東京都診療放射線技師会 各功労賞候補者および団体の選考・審査を行う。

災害対策委員会

- ・災害時対応マニュアル策定
- ・緊急被ばく医療研修会実施
- ・自然災害における災害対策に関する啓発活動
- ・委員会を年11回開催する

第4号議案 平成27年度予算（案）

収 支 予 算 書 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法 人 会 計	予 算 合 計 (A)	(参 考)	
	体験活動 他	会員のための 生涯教育事業	相互扶助 表彰親睦	共 通	小 計			前期予算 (B)	差異 (A - B)
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 受取会費									
正会員受取会費	13,966,400	399,040	199,520		598,560	5,387,040	19,952,000	17,000,000	2,952,000
賛助会員受取会費	700,000	20,000	10,000		30,000	270,000	1,000,000	2,500,000	△ 1,500,000
② 事業収益									
研修会事業収益	866,666	433,334			433,334	0	1,300,000	1,300,000	0
親睦会事業収益	0	0	1,500,000		1,500,000	0	1,500,000	2,000,000	△ 500,000
出版事業収益		0	0		0	0	0	0	0
③ 受取寄付金	30,000	0	0		0	0	30,000	30,000	0
④ 受取補助金	0	0	0		0	0	0	0	0
⑤ 雑収益									
受取利息	3,000	0			0	0	3,000	2,000	1,000
広告収益	1,300,000	0			0	0	1,300,000	1,850,000	△ 550,000
雑収益	500,000	0			0	0	500,000	500,000	0
経常収益計	17,366,066	852,374	1,709,520	0	2,561,894	5,657,040	25,585,000	25,182,000	403,000
(2) 経常費用									
① 事業費									
給料手当	816,000	144,000	240,000		384,000		1,200,000	1,115,000	85,000
福利厚生費	17,000	3,000	5,000		8,000		25,000	25,000	0
会議費	2,826,061	270,338	1,363,052		1,633,390		4,459,451	4,459,451	0
旅費交通費	1,009,455	94,674	15,978		110,652		1,120,107	1,026,765	93,342
通信運搬費	2,393,945	20,837			20,837		2,414,782	2,321,906	92,876
減価償却費	847,208	6,305	3,152		9,457		856,665	914,869	△ 58,204
消耗品費	395,000	5,000			5,000		400,000	400,000	0
修繕費	208,000				0		208,000	208,000	0
印刷製本費	6,290,294	57,837	50,623		108,460		6,398,754	6,398,754	0
光熱水料費	158,000	2,000			2,000		160,000	120,000	40,000
管理費	824,000				0		824,000	880,000	△ 56,000
倉庫使用費	176,600				0		176,600	173,389	3,211
保険料	39,500	500			500		40,000	80,000	△ 40,000
支払手数料	70,000		10,000		10,000		80,000	80,000	0
租税公課	249,600				0		249,600	192,000	57,600
慶弔費	210,000		30,000		30,000		240,000	240,000	0
広報関連費	1,000,000				0		1,000,000	800,000	200,000
研究助成費	70,000	30,000			30,000		100,000	50,000	50,000
原稿料	300,000				0		300,000	300,000	0
諸謝金	592,628	207,372			207,372		800,000	550,000	250,000
図書費	36,714	13,286			13,286		50,000	30,000	20,000
支払利息	180,550	2,300	1,150		3,450		184,000	224,000	△ 40,000
雑費	116,173	3,971	9,952		13,923		130,096	433,653	△ 303,557
事業費計	18,826,728	861,420	1,728,907	0	2,590,327		21,417,055	21,022,787	394,268

科 目	公益目的事業会計 体験活動 他	収益事業等会計				法 人 会 計	予算合計 (A)	(参 考)	
		会員のための 生涯教育事業	相互扶助 表彰親睦	共 通	小 計			前期予算 (B)	差異 (A - B)
②管理費									
給料手当						1,200,000	1,200,000	1,115,000	85,000
福利厚生費						25,000	25,000	25,000	0
会議費						840,549	840,549	840,549	0
旅費交通費						79,893	79,893	73,235	6,658
通信運搬費						185,218	185,218	178,094	7,124
印刷製本費						101,246	101,246	101,246	0
減価償却費						188,335	188,335	201,131	△ 12,796
消耗品費						100,000	100,000	100,000	0
修繕費						52,000	52,000	52,000	0
光熱水料費						40,000	40,000	30,000	10,000
管理費						206,000	206,000	220,000	△ 14,000
倉庫使用費						43,400	43,400	42,611	789
保険料						10,000	10,000	20,000	△ 10,000
支払手数料						20,000	20,000	20,000	0
租税公課						200,400	200,400	138,000	62,400
慶弔費						60,000	60,000	60,000	0
支払報酬						750,000	750,000	750,000	0
支払利息						46,000	46,000	56,000	△ 10,000
雑費						19,904	19,904	66,347	△ 46,443
管理費計						4,167,945	4,167,945	4,089,213	78,732
経常費用計						4,167,945	25,585,000	25,112,000	473,000
評価損益調整前当期経常増減額		861,420	1,728,907	0	2,590,327				
基本財産評価損益等		△ 9,046	△ 19,387	0	△ 28,433			70,000	△ 70,000
特定資産評価損益等									
投資有価証券評価損益等									
評価損益等計									
当期経常増減額		△ 9,046	△ 19,387	0	△ 28,433	1,489,095	0	70,000	△ 70,000
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計		0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
経常外費用計		0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額		0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額		258,235	△ 230,369		△ 258,235	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額		△ 27,866	△ 249,756	0	△ 286,668	1,489,095	0	70,000	△ 70,000
法人税、住民税及び事業税		△ 36,912					0	70,000	△ 70,000
当期一般正味財産増減額		△ 36,912	△ 249,756	0	△ 286,668	1,489,095	0	0	0
一般正味財産期首残高							61,001,407	49,923,534	11,077,873
一般正味財産期末残高							61,001,407	49,923,534	11,077,873
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額							0	0	0
指定正味財産期首残高							12,895,583	12,895,583	0
指定正味財産期末残高							12,895,583	12,895,583	0
III 正味財産期末残高							73,896,990	62,819,117	11,077,873

超音波画像研究会 定例会・講習会

<http://us-image.kenkyuukai.jp/>

第240回定例会

日 時：平成27年 6 月10日(水) 18時30分～ (受付18時00分)

会 場：東都文京病院 (東京都文京区湯島3-5-7) スカイルーム

講 師：東京医科大学病院画像診断部 河本敦夫先生

テ ー マ：「頸部エコーのあれこれ」

頸動脈、甲状腺など検査を行うなか、頸動脈や甲状腺の他にリンパ節、筋肉、顎下腺などさまざまなものが観察されます。見えているけど見ていない、見えているけど良くわからないなどで有耶無耶にならないよう解決の糸口になるべく東京医科大学付属病院 河本先生に「頸部エコーのあれこれ」と題してご講演いただきます。

参 加 費：会員500円/準会員・非会員1000円/新入会3000円 (入会金含む) /学生無料

問合せ先：中央医療技術専門学校 菅 和雄、今尾 仁 あて

tel 03-3691-1879 (16時30分～18時00分)

超音波画像研究会 事務局 E-mail us.image.workshop@gmail.com

第12回ワンバイツ講習会 (腹部超音波実技講習会)

腹部初心者講習会の受講者や初心者から一歩進んだ方を対象とした講習会。装置1台に受講者2名で、腹部超音波検査を徹底してレベルアップするためのハンズオンセミナーです。

日 時：平成27年7月12日(日) 8時45分～17時00分

会 場：中央医療技術専門学校 (東京都葛飾区立石3-5-12)

定 員：12名 (定員となり次第受付を終了致します。また、極少数である場合は費用返却のうえ中止する場合があります。)

参 加 費：会 員20,000円 (昼食含む、会員とは入会金支払い済である会員)

準会員25,000円 (ホームページ上での入会者、入会金、昼食含む)

非会員25,000円 (入会金、昼食含む)

申込方法・申込先：E-mailのみ Uskenkyukai@aol.com 担当 安納

問合せ先：公益財団法人 武蔵野健康づくり事業団 放射線科 安納

TEL : 0422-51-2828 ※16時00分～17時00分 (土、日、祝日を除く)

平成27年度 東京都がん検診センター

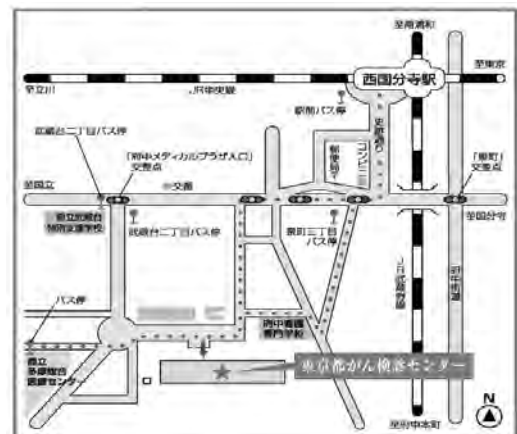
マンモグラフィ研修会（読影入門編）

マンモグラフィ検査に携わって間もない方、基礎から学びたい方を対象に、読影の基礎を内容とした研修会を実施します。用語の解説などの講義を行い、読影実習では実際に症例を見て読影し解説を行います。

- 1 対 象：診療放射線技師
- 2 実施日時：第1回 平成27年6月11日（木）13：55～17：30
第2回 平成27年6月12日（金）13：55～17：30
※2回とも同じ内容です。
- 3 内 容：
 - 13：55～ オリエンテーション
 - 14：00～15：00 講義『乳がん検診の概要と所見用語の解説』当センター放射線科技師
 - 15：10～17：30 臨床マンモグラム読影実習（グループ実習）当センター放射線科技師
- 4 会 場：東京都がん検診センター 2階研修室（下図参照）
- 5 募集定員：各回 先着36名（定員に達した時点で締め切ります）
- 6 受 講 料：3,000円（当日、お持ちください）
- 7 持 ち 物：ルーペ（写真読影時に使用）、筆記用具
- 8 申込方法：①メールアドレスをお持ちの方 当センターHPから『インターネット予約』
（<http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/asp.html>）にてお申し込みください。
②メールアドレスをお持ちでない方
申込書に必要事項を記入の上、FAXにて下記までお送りください。
*FAXにてお申込みいただいた方全員に、受講の可否をご連絡いたします。
- 9 申込み及びお問合せ先：
 - （公財）東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 経理係
 - 〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2
 - TEL：042-327-0201（代） FAX：042-327-0297 E-mail：togan@tokyo-cdc.jp

<研修会場案内図>

- JR中央線・武蔵野線「西国分寺駅」
徒歩15分
西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR中央線「国分寺駅」
国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR中央線「国立駅」
国立駅南口「府中駅」行バス 終点下車
- 京王線「府中駅」
「国立駅」行バス 総合医療センター下車



平成27年度 東京都がん検診センター
マンモグラフィ研修会 ～読影補助編～
受講申請書

参加希望日に○をしてください。

() 第1回 平成27年6月11日(木) 13:55～17:30

() 第2回 平成27年6月12日(金) 13:55～17:30

ふりがな
氏 名 _____ 性別 男 ・ 女

勤務先名称 _____

郵便番号 〒 _____

住 所 _____

電話番号 _____

受講連絡先 _____
(FAX)

* お申込みいただいた方全員に、受講の可否を FAX にてご連絡いたします。

マンモグラフィ経験年数 _____

News

5月号

前回連絡会議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：19名、欠席：1名

会長挨拶

平成26年度の最後の理事会ということで一年経つのが早いです。昨年さまざまな事業を展開してきましたが、本年度の最後の理事会をよろしくお願いいたします。年度末ということもあり年度初めに向けてのいろいろな事業計画案がありますのでご審議願います。前回もお知らせしましたが、3月17日に公益法人になって最初の立ち入り検査があります。ただ今、総務・庶務・経理委員会を中心に準備を着々と進めております。けれども、なかなか厳しい検査です。われわれの活動は、もともとが公益性のある活動です。監事にも厳しくみていただいています。不正なことはしていませんので正々堂々と受けたいと思います。それと、今年はX線発見から120周年のため、私も会誌に書いていますが、さまざまなイベントがあります。今年が120周年の年であるという広報など、いろいろな人たちに知らせて行く活動もしていきたいと思います。日本診療放射線技師会でも6月にX線発見120周年の記念式典を計画しています。また、3月17日の立ち入り検査に向けて掛かりつきですが、済みましたら、2019年の学術大会に向けて準備をしていきたいと思います。会場探しなどを本格的に始めてまいりますので皆さまのご協力をお願いします。2019年はオリンピックの前の年で、ラグビーのワールドカップの年でもあります。その辺りの日程で開幕戦や決勝戦が、東京の新しい国立競技場で行われ、重なりと大変だなという気もしています。

報告事項

1) 会長

・第9回の五役会ですが主に公益法人の立ち入り検査における協議ということで四谷監査法人の公認会計士と、両監事にも出席していただいて、事前にポイントを抑える

日時：平成27年3月5日(木)

午後6時45分～午後8時00分

場所：公益社団法人東京診療放射線技師会 事務所

出席理事：篠原健一、白木 尚、石田秀樹、関 真一、野口幸作、浅沼雅康、市川重司、江田哲男、高坂知靖、高野修彰、安宅里美、藤田賢一、平瀬繁男、竹安直行、岡部博之、飯島利幸、千葉利昭、鈴木 晋、工藤年男

出席監事：野田扇三郎

指名出席者：斎藤謙一（第1地区委員長）鈴木雄一（第5地区委員長）富丸佳一（第7地区委員長）、鎌田修（第8地区委員長）、今野重光（第10地区委員長）、原子満（第15地区委員長）、渡辺靖志（災害対策委員長）、高林正人（第14地区委員長代理）、崎浜秀幸（第13地区委員長）、雨宮広明（総務委員）、河内康志（総務委員）

欠席理事：葛西一隆

議長：篠原健一（会長）

司会：白木 尚（副会長）

議事録作成：河内康志

協議会を行っております。

・その他、活動報告書に追加なし。

2) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

3) 委員会報告

・災害対策委員会

皆さまの協力により、3月7日の勉強会の事前登録が20名を超えました。

・活動報告書に追加なし。

4) 地区活動報告

第5地区

・地区委員会開催日2月21日(土)→2月18日(水)に訂正

第9地区

・第9地区の新地区委員に帝京大学病院の方になっていた
だく予定でありますので、後ほど審議を願います。

城東支部

・城東支部委員会→城東支部合同委員会のため人数が第2地区だけの人数になっています。第1・2・7地区の合計人数で18名となるため、訂正して総務委員会に送ります。
その他、活動報告書に追加なし

議 事

1) 平成27年度事業計画案について

運営委員会に事前資料を配布し、各委員に広く意見を求めた。

会長が補足説明し、意見、質問を求めたが特になかったので採決を諮った。

篠原会長：会誌に掲載する前に、編集委員会が校正を行います。てにをはなどが違う箇所があれば訂正しますが、意味合いが変わることはありません。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

2) 平成27年度予算案について

運営委員会に事前資料を配布し、各委員に広く意見を求めた。

関理事が補足説明し、意見、質問を求めたが特になかったので採決を諮った。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

3) 第14回都民公開講座後援名義使用申請（東京都臨床工
学技士会）

第14回都民公開講座後援名義使用申請について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

4) 事業計画申請の件

①第45回日暮里塾ワンコインセミナー（学術教育が行く／
入会促進）

平成27年5月8日（金）、東京都済生会中央病院開催につ
いて審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

②看護フェスタ2015

平成27年5月16日（土）、新宿駅西口広場イベントコー
ナー開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

③ピンクリボンウォーク

平成27年4月5日（日）、東京都日比谷公園開催について
審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

④多摩支部研修会

平成27年4月28日（火）国分寺労政会館第4会議室開催
について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

3) 新入会に関する件

・2月度 新入会5名、転出3名、退会7名、会費減額処置
1名。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

4) その他

・第66回定期総会開催について

平成27年6月27日（土）第66回定期総会開催について審
議した。

会長が補足説明し、意見、質問を求めたが特になかった
ので採決を諮った。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

・第9地区の新地区委員について

運営委員会に事前資料を配布し、第9地区の新地区委員
について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

地区質問、意見に関する事項

1) 【第5地区】

・年に3回未払い請求が来ていると伺いましたが、具体的
にいつ頃から教えてください。

野口理事：会費の請求に関しては日本診療放射線技師会が
おこなっているので明確な時期については把握していま
せん。前回の理事会にて未納退会について2年間の未納
期間に5～6回は未払い請求をしていることから年3回く
らいとお話しました。時期については、おそらく2月ごろ
と10月ごろと年末ではないかと思われます。

篠原会長：会費の請求に関しては明確な時期は決まってい
ませんが、日本診療放射線技師会でもできるだけ再請求
ならびに再々請求に関しては早めにおこなうといってい
ました。また、会員システムのトラブルもあり、再請求
が遅れるなどの不具合がありましたが、会員システムが
安定しましたら時期を決めて定期的におこなえるように

なると思います。いずれにしても年3回くらいが妥当だ
と思います。

2) 【第7地区】

・会誌のPDF化について、雑誌という形でもらうよりも
PDFで会誌を貰いたいという要望がありました。さま
ざまな利便性を考え要望する人には会誌のPDF化での
配布という選択肢もあって良いのではないかと考えます。
セキュリティや会費の問題などいろいろあるかもしれ
ませんが地区より要望の声がありましたのでご検討頂け
ればと存じます。

篠原会長：この件についてはいろいろな意見があると思
いますが、現状の紙（会誌）をすべて電子化にすることは
無理だと思います。いろいろな環境の中に会員の方がい
ることや学術誌という意味合いもありますので難しいで
す。ただし、ある一定期間後にPDF化にして閲覧でき
るようにすることは、可能だと思います。また、会員の
方々の中から会誌を要する人、要らない人と分けて対応
することは難しいです。

浅沼理事：編集委員長ならびに定款諸規定委員の立場から
ですが、ひとつ大きな枠組みとしては公益事業費として、
会の収入の50%以上を公益として使用しなければならない
という点があります。会誌には学術誌として会員の方に
情報を提供し技術的な向上を図り、都民に啓発するとい
う面があり、公益事業費の中で大きなウエイトをしめ
ています。また、定款の内容によっては決議をとる際に
すべての会員に情報を送らなければならない事例が発生
します。その際に、ホームページでの閲覧になりますと
会員の意思がはたらか、見る、見ないが出てきますが、
現状の会誌であれば全会員に送っているの、必要な情
報を提供し総意を得る際の絶対条件のひとつとなります。
PDFの配布についてもPCの環境などにより見られない
場合がありますので、全会員への情報提供について、
会誌は絶対に必要となります。この点を加味してコスト
軽減や簡便さなど、他の方法を慎重に検討しなければな
りません。例年、こういった話は出ていますがこれらの
条件を満たせないため、変更には至れない状況です。

白木副会長：費用という点では、収支予算書の中で公益事
業と会員のための予算と分かれていますので、見てもら
えばわかると思います。

市川理事：学術教育の視点からいうと、学術誌は放射線技
術学会をはじめ、今の世の中の流れでは電子化が進んで
います。個人的には、会誌は残していきたいと思ってい
ますが、地区からの意見には、こうした背景もあるの
ではないかと思われます。また、電子化によるコスト削減
分を他の事業に有効活用したりすることで会員の満足度
を上げていくといったことを当技師会でも考えていき、
前向きに検討していくことが必要かと思ひます。特に学
会誌の中の論文などは、ホームページ上にどんどん載せ
ていくことが、学術担当の立場として非常に重要だと思
っています。

篠原会長：今後の方向性のひとつとして見据えておいて
いいと思いますが、今すぐに切り替えるのは時期尚早か
と感ずります。ある特定の目的を持った学術誌については、
さほど問題はないのかもしれませんが、職能団体の会誌

としては、いろいろな環境や立場の方がいるので難しいです。ただ、将来的には必要となっていくしますので、今後検討していきたい。

白木副会長：この件につきましては、各地区でも今後検討してみてください。

篠原会長：会誌を発送後に、ホームページ上にPDFなどで掲載することは大変なことです。

浅沼理事：編集委員会としては、さほどお金をかけずに電子化にすることは可能ですが、ホームページ上での運用をどうするかになります。また、セキュリティなどの発生の問題もあります。

白木副会長：情報委員会としては、すぐの対応は難しいですとのことでした。

篠原会長：会誌の全ページを電子化すると容量もかなり大きくなりますので、これらの問題を踏まえながら、継続して検討していきたいです。

3) 【第16地区】

・60歳以上定年退職者の退会が多い事への対策として、当会もJART会誌納入規程 第3章 会費の免除の導入を検討していただきたい。また同規程の参考になる規定部分も紹介します。第8条（会費の終身免除）25年または30年勤続表彰受賞者で25年以上継続して会員であった者で55歳以上の会員は、10万円を本会に納付し、その旨を申請することにより、翌年度以降の会費は終身にわたって免除されるものとする。第9条 被表彰者の免除 第10条 特別寄付者の免除など。

白木副会長：こちらは、日本診療放射線技師会の規程となります。東京都診療放射線技師会にも会費の免除規定があります。

野口理事：東京都診療放射線技師会の会費の免除。第8条、正会員で次の各項のひとつに該当する者は会費免除の取扱いを受けることができる。①に病氣、療養。③に医療技術派遣、海外出張。④に出産、育児。そして②に40年以上正会員であり、年齢が70歳に達し、かつ無職である者となっています。

篠原会長：いちばんの違いは、日本診療放射線技師会では55歳以上で25年または30年勤続表彰受賞者で25年以上継続して会員であった者は、10万円で会費免除となるとここで、若い年齢で本人の意思で終身会員になれるといった点です。工藤理事がいわれていたように60歳以上での定年退職時に退会する方が多いようですので、どのくらい要望があるのか調べながら検討していきたいです。

野口理事：60歳で減額申請をおこない70歳で免除といった流れでやっていただけると良いと思います。

4) その他【第3地区】

平瀬理事：先月の未納退会者リストに載っていた方から、平成23年度から26年度まで未納となっているが、平成23年度、24年度の会費は払っていると地区委員をかえして連絡がありました。本人いわく会費納入の領収書はないが、平成25年1月に診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会を受講および修了しているとのことで、会費を支払っていなければ受講できないはずなので平成23年度および24年度は支払っているとのことですが、どのようにしたらよいですか。

篠原会長：まず、会費の請求は一括して日本診療放射線技師会がおこなっているの、そちらに問い合わせしてみようですか。

平瀬理事：問い合わせしてみたが、未納扱いになっているので4年分の請求がきて困っているとのことでした。

野口理事：今すぐに、回答はできませんが、今後調査をおこなっていくことはできます。

篠原会長：日本診療放射線技師会で調査をしてみます。

連絡事項

1) 渉外委員会

・先週の木曜日で小野賞の推薦を締め切りました。皆さまのおかげで、12～3名の推薦をいただきました。この後、表彰委員会で諮問し、来月の理事会で承認をいただきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

2) 学術教育委員会

・来週11日（水）に第44回ワンコインセミナーを開催します。場所は三鷹で「学術教育が行く入会促進」平成27年度の第1回目となります。3月号の会誌に掲載しましたが、申し込みが少ない状況です。ぜひ、各地区で広報をお願いします。テーマは基本的な胸部撮影で咳をしている時の写真の見方など臨床的な画像所見を紹介しますので、よろしくお願いします。

3) 厚生調査委員会

・各地域の医療施設（データベース）のメンテナンス用資料を送信しましたが、不具合がありうまく送れなかったため再送信いたします。各地区施設の住所や名称のメンテナンスをおこない返信をお願いします。

4) 情報委員会

・情報公開ということで公益社団法人になってからの事業報告および事業計画をホームページに掲載しました。ホームページ上の事務所概要のところから閲覧できます。
・6月に開催される関東甲信越診療放射線技師学術大会のバナーをホームページ上に作成いたしました。大会のホームページにリンクするように掲載されていますので、よろしくお願いします。

5) 編集委員会

・皆さまのご協力を得まして印象記を多数、会誌に掲載することができました。謝礼となりますクオカードをお配りしますので、合併号以降に掲載した、城東支部、城北支部、第6地区、第4地区、第12地区の委員長は、後ほど理事会終了後にまとめてお渡します。

6) 総務委員会

・各支部から総会実行委員を選出していただき、合計15名となりました。第1回総会実行委員会を5月22日（金）に開催いたします。委員の方々にはこちらから連絡いたします。
・日本診療放射線技師会の総会が6月6日（土）に開催されますが、東京診療放射線技師会から総会職員を選出を依頼されると思われます。支部から1名ずつ推薦をお願いします。正式に依頼がありましたらお知らせしますので、よろしくお願いします。
・日本診療放射線技師会からの給料のアンケート調査が1か月延長され、各都道府県へ協力要請がきています。大

切なアンケート調査なので、ご協力お願いします。3月20日（金）までとなっています。アンケートの返信用封筒を後でお配りします。

- ・年度末となりますので3月31日を目標に事業報告の提出をお願いします。また、参加人数の内訳に注意して記載をお願いします。終わっている事業に関しては、早めに提出していただくと、まとめるのに助かります。

7) 広報委員会

- ・ピンクリボンウォークについて、例年3月の末でしたが、今年は4月5日（日）に日比谷公園で開催いたします。また、5月には看護フェスタが土曜日に開催されますので、ご協力お願いします。

8) 篠原会長

- ・総務の石田委員長より来年度の最新版の事業計画表が配信されたと思いますが、その中で東京都診療放射線技師会の事業ではないですが、日本診療放射線技師会の事業としてX線発見120周年の記念式典、講演会ならびに祝賀会を6月5日（金）に予定しています。首都圏の多くの技師会員の皆さまに参加してほしいと依頼があると思いますので、ご協力お願いします。また、翌日は日本診療放射線技師会の総会と続きますが、ご協力よろしく願います。

江田理事：X線発見120周年の記念式典の会場は、パレスホテルとなります。また、特別講演に自治医科大学附属病院の病院長をお招きします。

9) 城西支部

- ・3月19日（木）に城西支部研修会を東京医科大学病院で開催します。事前登録が少ないので、皆さまのご協力お願いいたします。

その他

平瀬理事：先月の理事会にて承認された第3地区の新地区委員の方が日本診療放射線技師会を未納退会されていました。現在、メールで確認をおこなっています。また、日本診療放射線技師会および東京都診療放射線技師会の両会に入会するようメールで依頼しています。

野口理事：先月の理事会で承認されましたが、保留とさせていただきます。また、状況確認し、動きがありましたら対応します。

篠原会長：現在、東京都を含め地方の技師会と日本診療放射線技師会と両方に入会するスタンスで動いていますので、地区委員の方がどちらかだけということは好ましくありません。理事会としても本人に納得してもらい両会に入会して地区委員としてご活躍いただきたい。

今後の予定

年度末になります。予定表（添付ファイル）の確認をお願いします。ファイルは随時更新していますが、ブッキングや間違いなどがあれば、石田総務委員長までご連絡ください。

以上



MORIYAMA多目的診断用保持具

Round Foam

多目的診断用保持具・ラウンドフォーム

しっかり安定、ラクラク撮影！
患者さんの負担を軽減し、
撮影の妨げを解消する
「ラウンドフォーム」

ラウンド加工により、
患者さんにもやさしいソフトな感触。
X線撮影時にエッジ部分が
写り難くなりました。



MORIYAMA
MEDICAL EQUIPMENTS
SINCE 1954

株式会社森山X線用品
MORIYAMA X-RAY EQUIPMENTS CO., LTD.

営業部/〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目24番11号 TEL.03-3811-5811(代) FAX.03-3811-5484
本社/〒123-0873 東京都足立区扇1丁目52番12号 TEL.03-3898-3151(代) FAX.03-3898-3510
http://www.moriyama-x.co.jp E-mail info@moriyama-x.co.jp

※RoHS指令(特定の有害物質使用規制に関する指令)に対応しております。

平成26年度2月期 会員動向

(平成27年2月)

総会員数		正会員							賛助会員						
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会	編出・入		会員数	新入	転入	転出	退会	編入・出	
25年度集計	2008	1822	105	16	11	60	-6	1	186	7	1	5	6	6	-1
H26.4	2010	1825		10	3	3	-1		185			1	1	1	
H26.5	2046	1861	38	2	1	3			185						
H26.6	2071	1886	23	3	1				185						
H26.7	2098	1913	29	3	1	4			185						
H26.8	2103	1919	7	2	2	1			184				1		
H26.9	2104	1921	6		2	2			183				1		
H26.10	2125	1942	18	5	1	1			183						
H26.11	2129	2129	8			4			0						
H26.12	2131	2131	7			5			0						
H27.1	2135	2135	7	4	1	6			0						
H27.2	2130	2130	5		3	7			0						

新卒新入＝★

2月度	新入会(5名)	川崎 美玖	横浜保土ヶ谷中央病院	15 地区	★
		慶長 咲百合	日本赤十字社医療センター	4 地区	
		小甲 康隆	多摩南部地域病院	13 地区	
		平山 孝	東部地域病院	6 地区	
		田部井 勝行	東京大学医学部附属病院	5 地区	
	転出(3名)	桑原 亮太	東京医科大学八王子医療センター →新潟県へ	13 地区	
		白鳥 綾子	八潮中央総合病院 →埼玉県へ	16 地区	
		倉田 靖丈	府中恵仁会病院 →千葉県へ	13 地区	
	退会(7名)	林 敬眞	日本大学医学部附属板橋病院	9 地区	
		城生 葵	慶應義塾大学病院	3 地区	
		原田 理映	東邦大学医療センター大橋病院	11 地区	
		遣田 力也		14 地区	
		大倉 慶子	自衛隊中央病院	11 地区	
		寺田 桂子	健康医学協会東都クリニック	1 地区	
		大森 秀雄		12 地区	

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

平成27年度

1. 学術研修会
 - ☆第14回サマーセミナー 平成27年 8 月
 - 第18回メディカルマネジメント研修会 平成27年11月
 - ☆第14回ウインターセミナー 平成28年 1 月
 2. きめこまかな生涯教育
 - 第55回きめこまかな生涯教育 平成27年 5 月23日 (土)
 - 第56回きめこまかな生涯教育 平成27年10月
 - 第57回きめこまかな生涯教育 平成28年 2 月
 - ☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー
 - 第45回日暮里塾ワンコインセミナー (平成27年度フレッシューズセミナー合同開催) 平成27年 5 月31日 (日)
 - 第46回日暮里塾ワンコインセミナー 平成27年 6 月12日 (金)
 - 第47回日暮里塾ワンコインセミナー (平成27年度フレッシューズセミナー合同開催) 平成27年 6 月14日 (日)
 - ☆4. 第13回ペイシェントケア学術大会 平成27年 6 月27日 (土)
 - ☆5. 第15回東放技・東京部会合同学術講演会 平成27年 9 月
 6. 集中講習会
 - 第 8 回MRI集中講習会 平成28年 2 月
 - ☆7. 支部研修会
 - 城東支部研修会 平成27年 7 月16日 (木)
 - 城西・城南・城北支部研修会
 8. 地区研修会
 9. 特別委員会研修会
 - 災害対策委員会研修会
 10. 地球環境保全活動
 - クリーンデー (中央区内一斉清掃日) 平成27年 5 月24日 (日)
 - 荒川河川敷清掃活動
 - 日暮里駅前清掃活動
 - 富津海岸清掃活動
 - ※公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会 平成27年 6 月27日 (土)
- 関連団体
- 超音波画像研究会 エコーの寺子屋 平成27年 5 月 8 日 (金)～8 月26日 (水)
 - 平成27年度フレッシューズセミナー (第45回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催) 平成27年 5 月31日 (日)
 - 平成27年度 東京都がん検診センター マンモクラフィ研修会 (読影補助編) 平成27年 6 月11日 (木)、12日 (金)
 - 平成27年度フレッシューズセミナー (第47回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催) 平成27年 6 月14日 (日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回		
開催日	平成 年 月 日() ~ 月 日()		
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック		
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県		
ふりがな			
氏 名			
性 別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性		
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []		
	TEL (必須)		
	FAX		
	メール (PCアドレス)		
備 考			

FAX 03-3806-7724

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所

診療放射線学科専任教員募集

東京電子専門学校

医療・コンピュータ・電子の総合学園、創立69年の伝統と4省認定校

募集対象者：診療放射線技師（臨床実務経験5年以上）、教育経験あればなお可

募集人員：若干名

学校名：東京電子専門学校

住所：〒170-8418 東京都豊島区東池袋3丁目6番1号

待遇：経歴、資格、前給等を考慮して本校規定により優遇
賞与（昨年度実績5.45月）、交通費支給

勤務・休日：9:00～17:00（実働7時間）、週休2日（土日祭休）休出は代休有、半日有給制度有

社会保険：社会保険完備（私学共済）

宿舍の有無：なし

応募方法：履歴書（写）、職務経歴書、資格者証のコピー（必要なもののみ）、通勤可能な方、
担当できる教科（可能であればお知らせください）

担当者：脇坂 哲夫 E-mail：wakisaka@tokyo-ec.ac.jp

TEL：03（3982）3131（大代表） FAX：03（3980）6404

JMB 医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、今迄数多くの病院・医療機関等より要請を承っております。
勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望に合わせてお仕事をご紹介します。
医療スタッフを随時募集しております。ご友人などのご紹介も随時受けつけております。

★まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご説明させていただきます。

★登録・紹介料は不要です。

★受付時間 平日 9：00 ～ 17：30

土曜日 9：00 ～ 13：00

（日曜日・祝祭日休み）

株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ

フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 TEL：03-3869-5801

URL：http://www.jmb88.co.jp FAX：03-3869-5802 E-mail：info@jmb88.co.jp

一般労働者派遣事業許可 般13-301371 有料職業紹介事業許可 13-ユ-130023

Postscript

みなさんはFacebookやTwitter、LINE等のSNSを利用されていますでしょうか。

携帯やスマホを利用して簡単にコミュニケーションがとれるツールとして広く普及しています。リアルタイムで情報交換が出来て物理的な距離にとらわれずにコミュニケーションがとれるため、便利で楽しいのですが、ある意味個人情報やプライバシーがダダ漏れ状態である事も事実です。そのため使い方一つで家庭や職場に大きな影響を与えることがあります。

トラブル例としては、某コンビニエンスストアで従業員が売り場のアイスクリームケースに寝そべった画像をFacebookに投稿。その後該店舗はフランチャイズ契約を解除され閉店せざるを得なくなりました。当人はちょっとしたイタズラのつもりだったのかもしれ

ませんが、社会に与えた影響はそれこそ想定外だったでしょう。投稿した本人も経営者もこれで人生が大きく変わってしまったことでしょう。

SNS自体は大変便利で楽しいこともたくさんあります。上手に利用すれば仕事に活用することも出来ますし、技師会活動を活発にすることも出来ると思います。おそらくそれぞれの職場でSNSの利用規程やガイドラインが定められているかと思います。それを守ってSNSを有効に活用しましょう。

〈すえぞう〉

■ 広告掲載社

コニカミノルタヘルスケア(株)
(株)ジャパン・メディカル・プランチ
東京電子専門学校
東芝メディカルシステムズ(株)
(株)日立メディコ
富士フイルムメディカル(株)
(株)森山X線用品

東京放射線 第62巻 第5号

平成27年5月9日 印刷(毎月1回1日発行)

平成27年5月11日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・休日・祭日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX 東京 (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

中谷 麗

柴山豊喜

平田充弘

高橋克行